Panasonic

MD ステレオシステム
取扱説明書

品番 SC-SV1

パネル表示の変化について デモ機能

電源コードをコンセントに差し込むと、表示部の表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ(デモンストレーション)機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしても、表示部の表示は消灯せず、デモ機能が働きます。

■デモ機能を「切」にするには

STOP■ −DEMO

デモ機能動作中に
"DEMO OFF"と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

押し続けるたびに
DEMO OFF(切) ⇄ DEMO ON(入)

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計合わせの方法については、「時計を合わせる」(10ページ)をご覧ください。

Mini Disc　MDLP　NetMD

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6169-S

本機の特長

MDLP 対応

本機は MD の長時間録音用フォーマット MD**LP** に対応しています。
今までの MD では、ATRAC（Adaptive TRansform Acoustic Coding）という音声圧縮技術を使って、音楽データを約1/5に圧縮して MD に記録していました。
MD**LP** は、ATRAC3 という音声圧縮技術を使うことで、音楽データを約1/10、約1/20に圧縮して記録できるようになり、ステレオで2倍（LP2 モード）、4倍（LP4 モード）の長時間録音が可能になりました。

高速録音（最大4倍速）

CD から MD へ最大4倍速での録音が可能です。
ただし、常に4倍速での録音になるわけではありません。CD の内側と外側ではこの速度に差異が生じます。このため、74分のディスクでは、約23分で録音が完了します。
なお、一度 CD から MD へ高速録音した場合、著作権保護のため、録音を開始した時点から約74分間は同じ曲を高速で録音することはできません。

パソコン接続対応

パソコンと USB 接続して、音楽 CD やインターネット上の音楽配信サイトからパソコンに蓄積した音楽データを再生したり、MD に記録したりできます。

■MD に録音する　Net MD

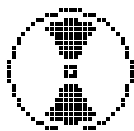
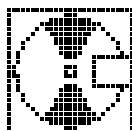
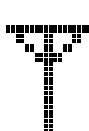
パソコン上の音楽データを本機に転送し、MD に記録することができます。
記録した MD は、CD から録音した MD と同じように、本機や他の MD 機器で再生することができます。
付属のアプリケーションソフト「BeatJam」をパソコンにインストールして、操作してください。（Windows OS がインストールされているパソコンで使用してください。Macintosh OS のパソコンでは使用できません。）

■演奏を楽しむ　USB オーディオ

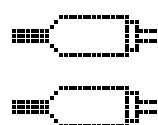
パソコン上の音楽データの演奏を、本機を通して楽しむことができます。

キャラクターについて

選択している入力モードに合わせて、いろいろなキャラクターが表示されます。

CD のとき

MD のとき

ラジオのとき

USB オーディオ Net MD のとき

P-MD のとき

AUX のとき

録音中
（例：CD → MD）

録音する音源によって、変わります。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

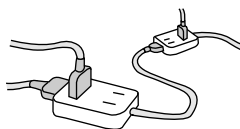
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

抜き差しは電源プラグを持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

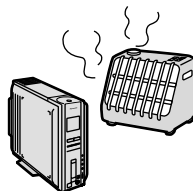
屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CDトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

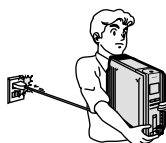
⚠注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

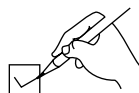
電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

☐ 電源コード..........1 本
（品番 RJA0012-K）

☐ リモコン ....1 個
（品番 EUR7702220）

☐ リモコン用単3形乾電池
.............................2 本

☐ スタンド ....1 個
（品番 RYK1173-H）

☐ ゴム足 ....1 シート（12 個）
買い替え時のサービス供給品は1シート４個です。
（品番 RFA0631A-K）

☐ FM 簡易型アンテナ....1 本
（品番 RSA0007）

☐ AM ループアンテナ....1 個
（品番 RSA0033）

☐ USB ケーブル ...1 本
（品番 RJL4X005X20）

☐ クリーニングクロス.....................1 枚
（品番 RFE0088-1）

☐ ネットワーク MD ソフトウェア
●CD-ROM ....1 枚

●ユーザー登録ハガキ ....1 枚

●BeatJam 取扱説明書 ....1 冊
（品番 RQT6218-S）

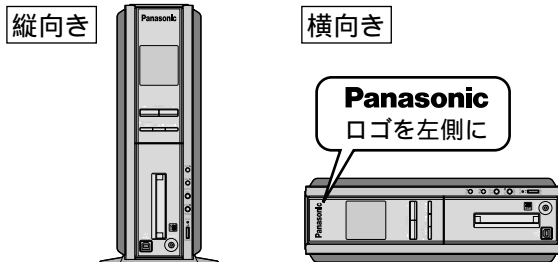
- ●付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- ●付属の CD-ROM は本機で再生しないでください。スピーカーの故障の原因になります。
- ●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。

設置と接続

設置

本体は、縦向きにも横向きにも置くことができます。
置く方向に合わせて下記の準備をしてから、設置してください。

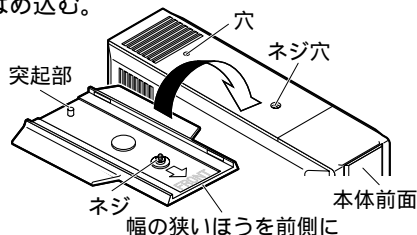
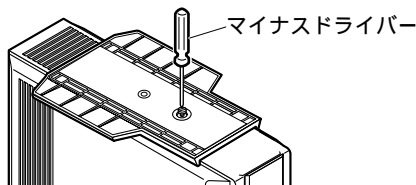
横向き

必ずイラストの向きに置いてください。

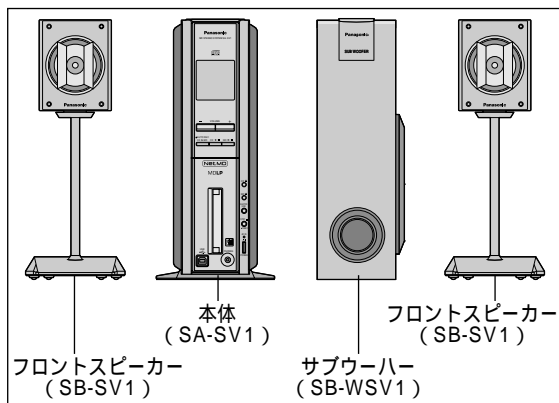
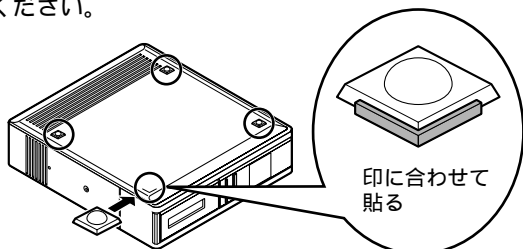
本取扱説明書では、縦向きのイラストで操作の説明をしています。

■ **表示部の向きが設置に合わせて変わります。**
設置／接続を終えた後に電源を入れて、正しい向きに表示されているか確認してください。

お知らせ
- 必ず電源を切った状態で設置してください。
- 上下逆には置かないでください。故障の原因になります。

縦向き

下になる面にスタンド（付属）を取り付けてください。
① スタンドのネジと突起部を、本体の穴に合わせてはめ込む。

② ネジをしめて、本体とスタンドを固定する。

横向き

下になる面 4 箇所にゴム足（付属）を貼り付けてください。

フロントスピーカー（SB-SV1）
左右とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。スピーカーをスタンドから外して使うこともできます。（⇨ 48 ページ）

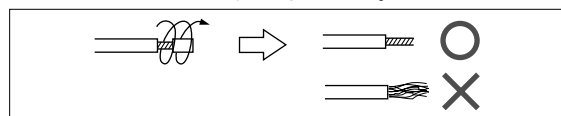
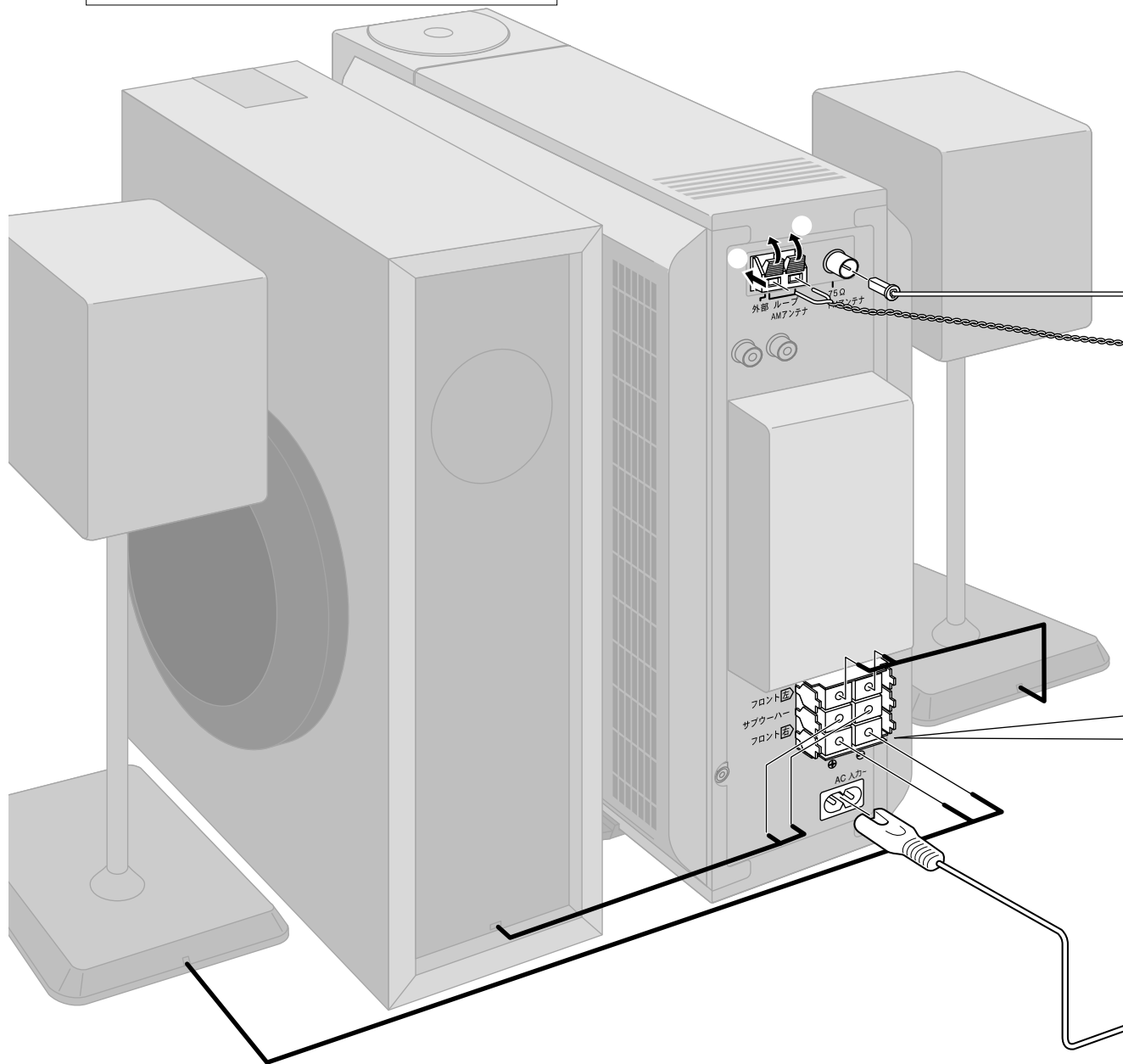
サブウーハー（SB-WSV1）
前方の、床やしっかりした台など振動しにくい場所に置いてください。
右側面にウーハーが、後面にポート（穴）がついています。音の効果を出すために、右側と後側に 5 cm 以上の空間を空けてください。
右側のネットは取り外しできません。
サブウーハーは本体の上に置かないでください。

本棚などに置かないでください。
放熱が妨げられ、機器のパネルが変形したり、火災の原因になったりします。
本体とスピーカーは放熱効果維持のため、1 cm 以上離してください。

より良い音響効果を得るために
- 床や壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。

お願い
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **スピーカーコードの ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。**
故障の原因になります。
- **前面振動部（やわらかい部分）に触れないでください。**
傷がついたり破れたりすると、正しい音が出なくなります。
- **大きな音量で連続使用しないでください。**
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は音量を下げてください。（音量を下げないと故障の原因になることがあります。）**
  - 音がひずんだとき
  - レコードプレーヤーのハウリング音やFM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスクなど大きな信号が連続して加わるとき
  - 音質を調整するとき
  - 電源を切るとき

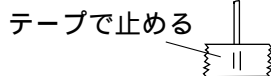
接続

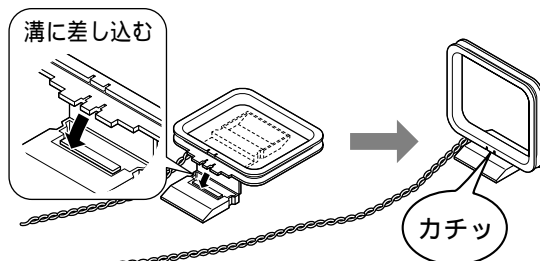
準備： スピーカーコードの先端のビニール部分をねじりながら抜き取ります。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ／AM ループアンテナは必ず接続してください。
接続しないと放送を受信できません。

- 本機のスピーカーは、テレビやパソコンのモニターとの近接使用が可能なスピーカーシステム<防磁設計（JEITA）>※ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビ／モニターの電源を切り、15 分～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビ／モニターの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビ／モニターに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

※「防磁設計（JEITA)」とは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

❶ FM 簡易型アンテナ

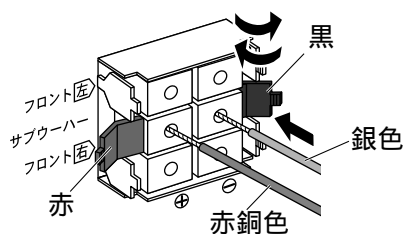
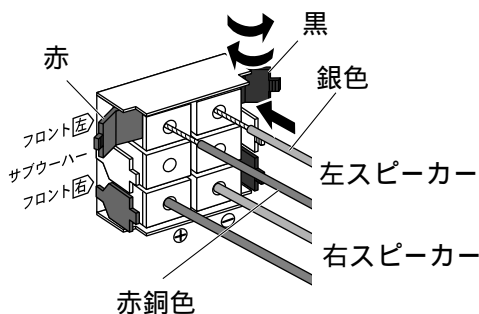
つないだあと、実際に放送を受信してみて（⇨17 ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。

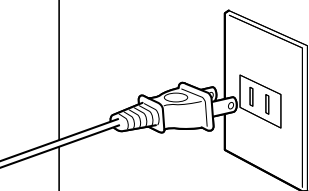
テープで止める

❷ AMループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（⇨17 ページ）、雑音の少ない位置に置きます。

❸ スピーカーコード

⊕端子に赤銅色コードを、⊖端子に銀色コードをつなぎます。

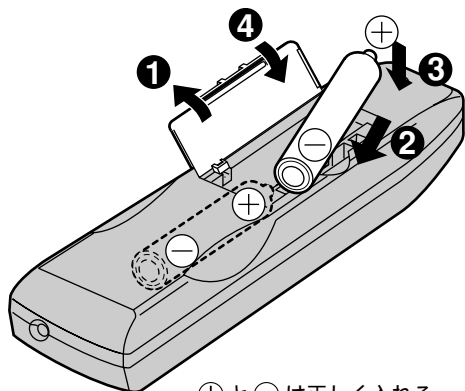
コードとレバーの色を確認のうえ、正しく接続してください。
誤った接続をすると故障の原因になります。

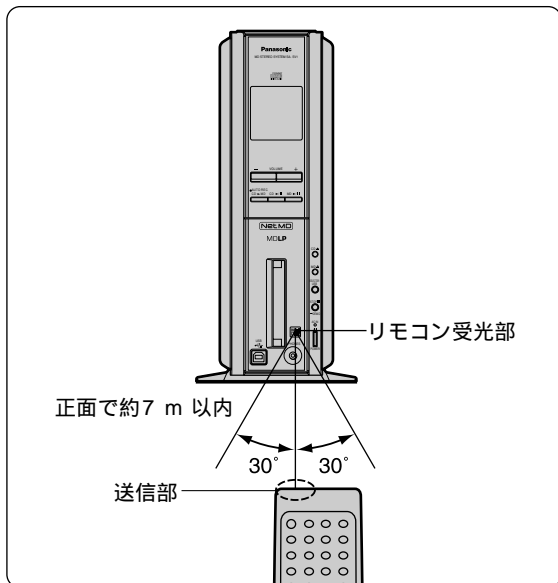
サブウーハーコード

フロントスピーカーコード

❹ 電源コード

電源コードは最後に接続します。

家庭用電源コンセント
(AC 100 V 50/60 Hz)

長期間使用しないときは

節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。
本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます。

リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる

リモコンの使いかた

■使用上のお願い

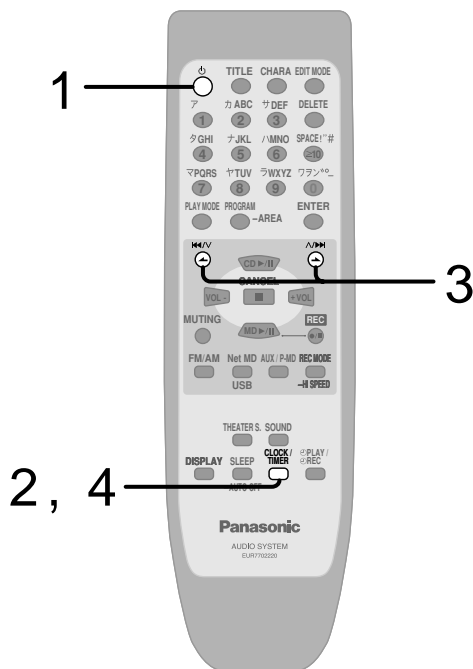
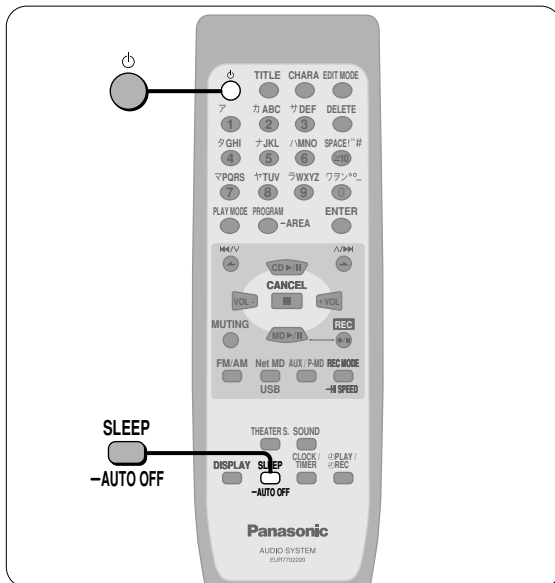
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

■故障防止のために

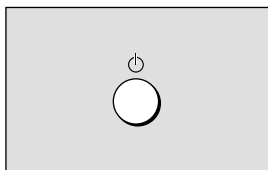
- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

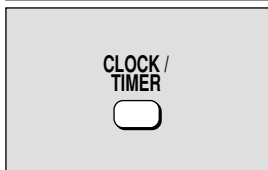
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

時計を合わせる

オートオフ機能

（24時間表示） リモコンのみ

例： 16時25分（午後4時25分）に合わせる。

1

押す
電源が入ります。

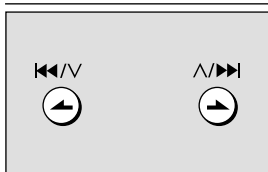
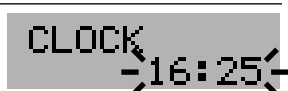
2

押して
“CLOCK --：--”を選ぶ

CLOCK
--：--

押すたびに
CLOCK→◷PLAY→◷REC →元の表示

3

10秒以内
押して
時計を合わせる

CLOCK
16:25

- 押し続けると時刻表示が連続して変化します。
- 元の表示に戻ったときは、手順**2**からやり直してください。

4

時報に合わせて
押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

CLOCK
16:25

■時計を表示させるには

押す

お知らせ
- 電源「切」時は、時計を合わせていれば時計表示をします。
- 本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差が生じることがあります。定期的な時刻補正をおすすめします。

リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぎます。必ずデモ機能も「切」にしてください。（⇨ 表紙）
MD、CD の演奏が停止状態で、ボタン操作がない状態が10分続くと、自動的に電源が切れます。

① ［⏻］を押して電源を入れる。

② “A・OFF”と表示するまで、［SLEEP －AUTO OFF］を押し続ける

A-OFF

解除するには、
もう一度［SLEEP －AUTO OFF］を押し続け、表示を消す。

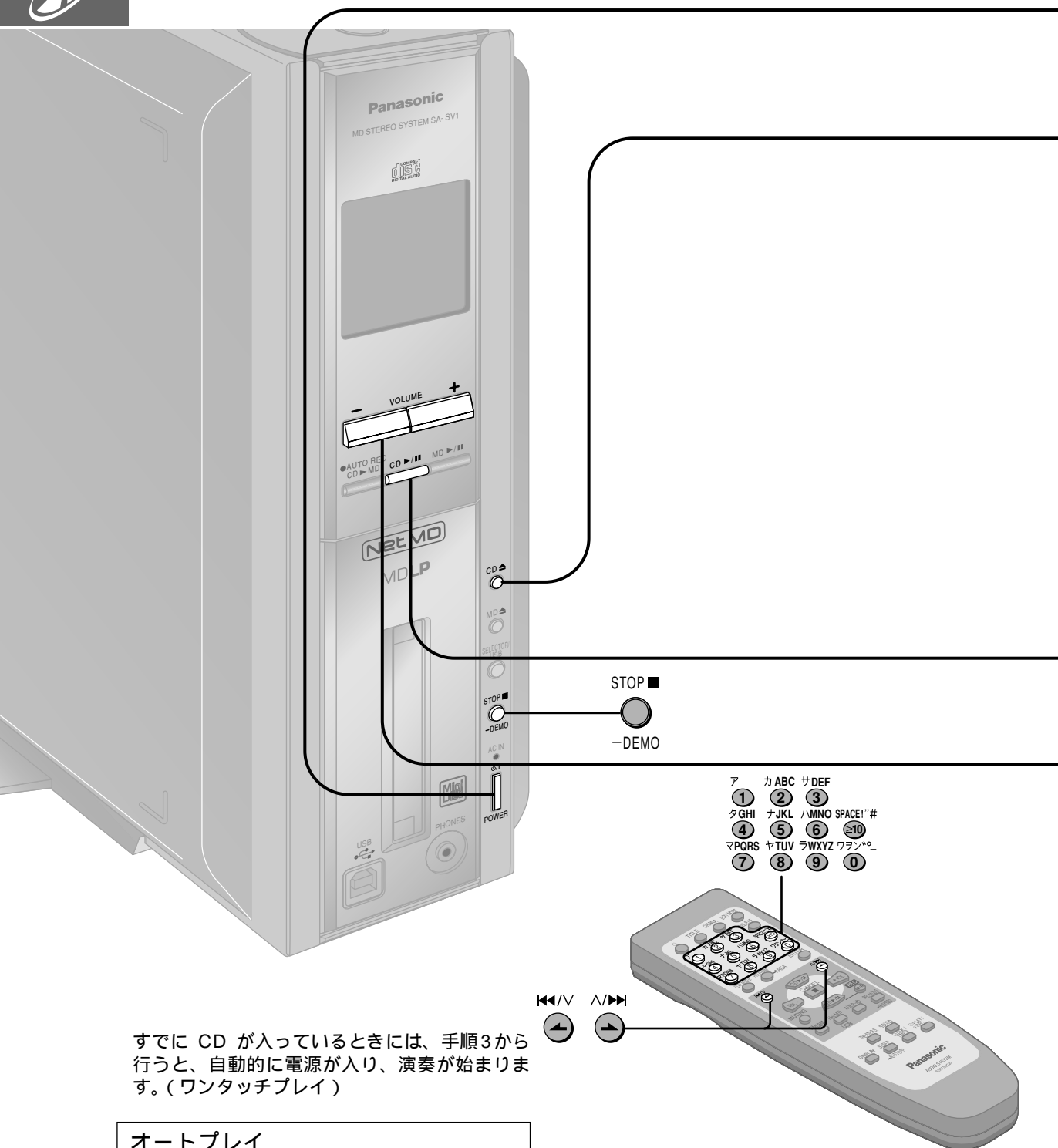
お知らせ
- 一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
- MD、CD モードでのみ設定できます。
- Net MD モード（ネットワーク確立後）で本機の入力モードが MD のときも働きますので、Net MD を使用されるときはオートオフ機能を「切」にすることをおすすめします。（⇨ 55 ページ）
- MD、CD モード以外にすると、“A・OFF”表示が消えますが、設定の内容は記憶されています。（MD、CD モードにすると表示が戻ります）

CD を聞く

STOP■

－DEMO

ア　カABC　サDEF
1　2　3
タGHI　ナJKL　ハMNO　SPACE!”#
4　5　6　≧10
マPQRS　ヤTUV　ラWXYZ　ワヲン゛゜_
7　8　9　0

⏮/∨　∧/⏭

● すでに CD が入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

オートプレイ

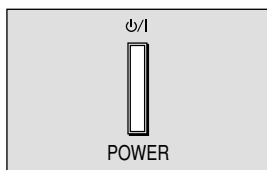
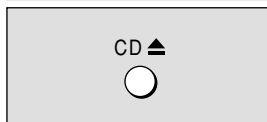
CD を入れてトレイを閉めると、自動的に演奏が始まるように設定できます。
“ AUTO PLAY ON ”と表示するまで、［CD ⏏］を押し続ける

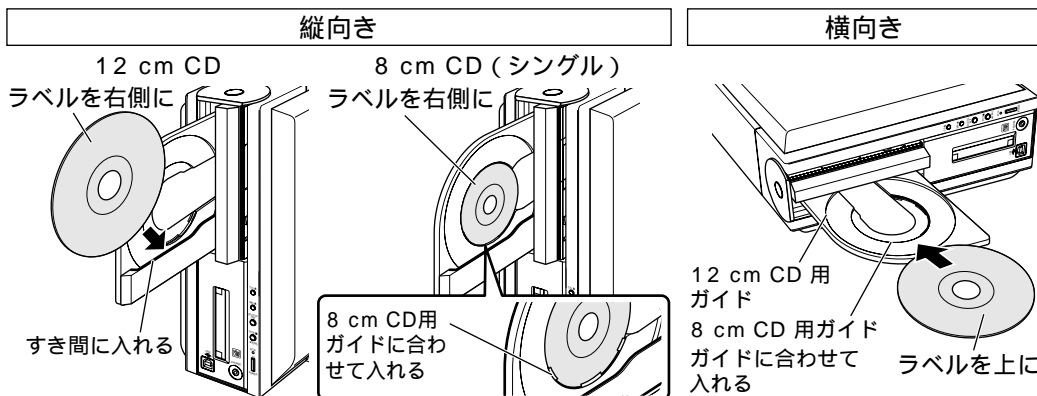
■解除するには
“ AUTO PLAY OFF ”と表示するまで［CD ⏏］を押し続ける

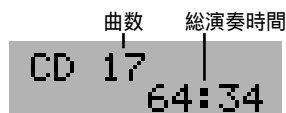
CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

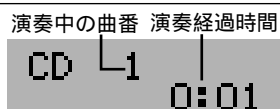
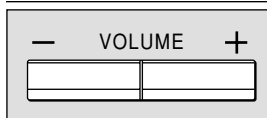
1 POWER

押す
電源が入ります。

2 CD ⏏

押す
前面パネルが回転し、CD トレイが開きます。

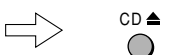
CD を入れる

もう一度押して閉める。
CD モードになっているときは、
曲数、総演奏時間が表示されます。

3 CD ►/❚❚

押す
1曲目から最終曲まで順に演奏して、停止します。

4 VOLUME

押して
音量を調節する

■ **演奏を止めるには** ⇨ STOP■ −DEMO **押す**

■ **一時停止するには** ⇨ CD ►/❚❚ **押す**
再開するには、もう一度押す

■ **CD を取り出すには** ⇨ CD⏏ **押す**
（電源「切」時に押すと、電源が入る）

リモコンのみ

■ **曲を前後にとび越すには（スキップ）** ⇨ ⏮/∨ ∧/⏭ **押す**

■ **早送り・早戻しするには（サーチ）** ⇨ ⏮/∨ ∧/⏭ **演奏（または一時停止）中に、押し続ける**

■ **好みの曲から聞くには（ダイレクトプレイ）** ⇨ **押す**
選んだ曲から順に再生します。
● 10以上の曲番を選ぶには
（例）曲番24 ≧10 → 2 → 4

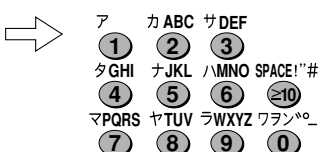
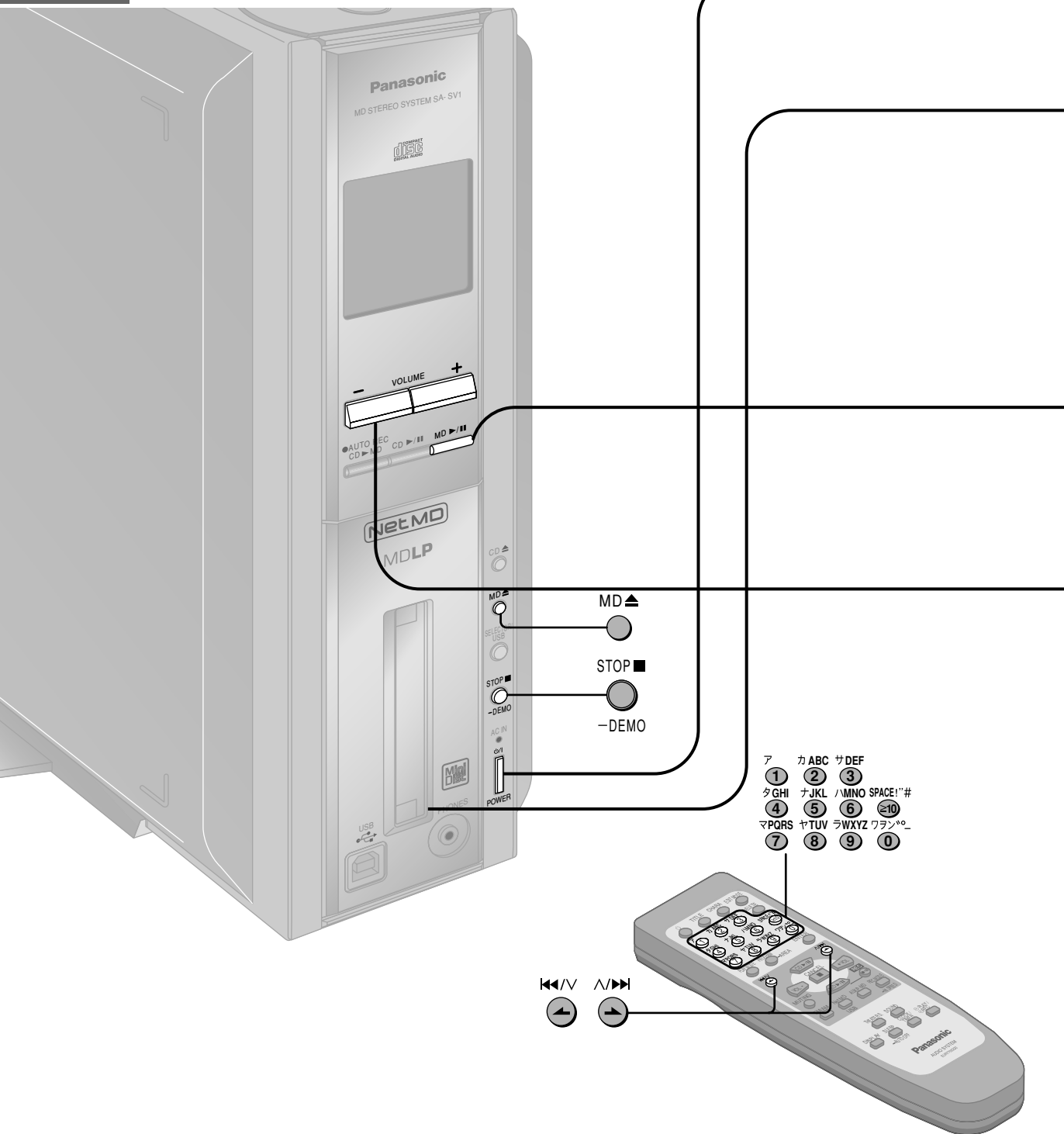
ＭＤ を聞く

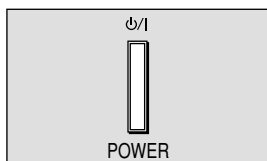
MD▲

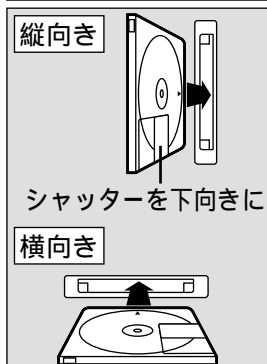
STOP■

－DEMO

ア カABC サDEF
1 2 3
タGHI ナJKL ハMNO SPACE!"#
4 5 6 ≧10
マPQRS ヤTUV ラWXYZ ワヲン
7 8 9 0

⏮/∨ ∧/⏭

● すでに ＭＤ が入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

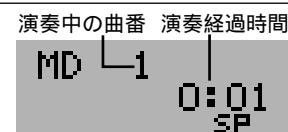
1

押す
電源が入ります。

2

録音済み MD を入れる
MD モードになっているときは、曲数、ディスクタイトル、総演奏時間が表示されます。

MD 17 70:34
総演奏時間

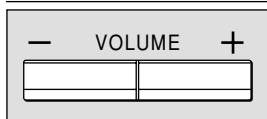
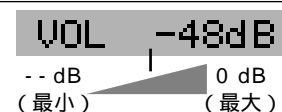
(電源「切」時に MD を入れると、電源が入ります)

3

押す
1曲目から最終曲まで順に演奏して、停止します。

SP　:演奏中の曲が通常録音モードで録音されている。
LP2　:演奏中の曲が長時間(2倍)録音モードで録音されている。
LP4　:演奏中の曲が長時間(4倍)録音モードで録音されている。
MONO:演奏中の曲がモノラルで録音されている。

4

押して
音量を調節する

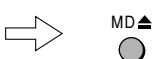
VOL -48dB
- - dB (最小)　0 dB (最大)

■ 演奏を止めるには

押す

■ 一時停止するには

押す
再開するには、もう一度押す

■ MD を取り出すには

押す
(電源「切」時に押すと、電源が入る)

リモコンのみ

■ 曲を前後にとび越すには (スキップ)

押す
停止中に押し続けると、グループスキップ(➪ 29 ページ)になります。

■ 早送り・早戻しするには (サーチ)

演奏(または一時停止)中に、押し続ける

■ 好みの曲から聞くには (ダイレクトプレイ)

押す
選んだ曲から順に再生します。

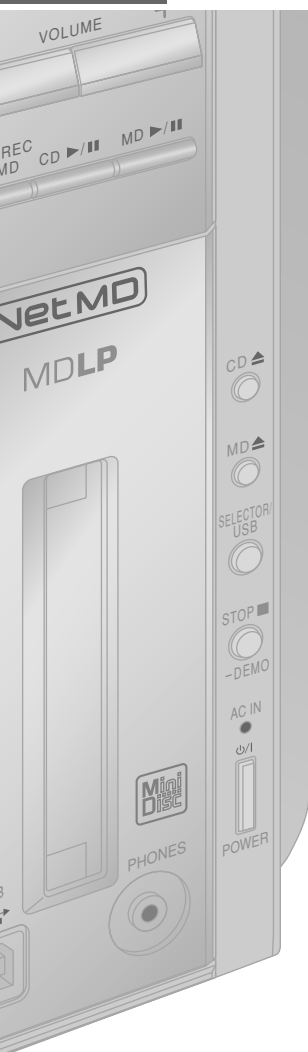
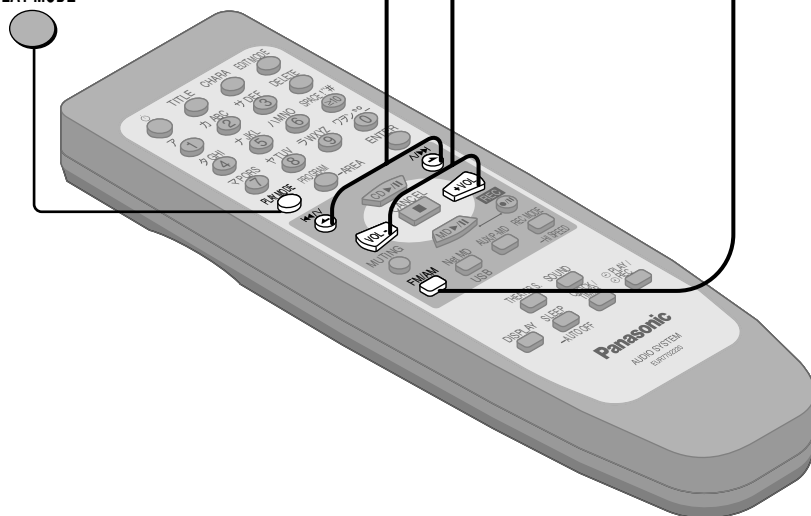
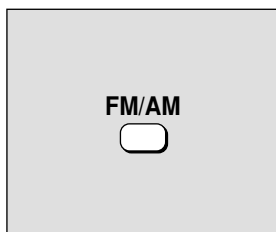
● 10以上の曲番を選ぶには
(例) 曲番24

● 100以上の曲番を選ぶには
(例) 曲番235

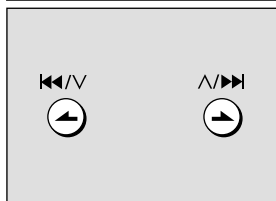
使いかた

ラジオを聞く リモコンのみ

PLAY MODE

ラジオを聞く

1

押して
“ＦＭ”または“ＡＭ”を選ぶ
自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
（ワンタッチプレイ）

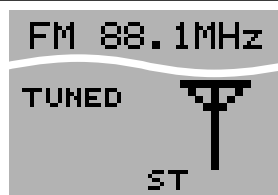
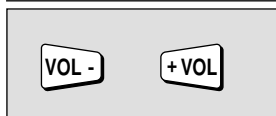
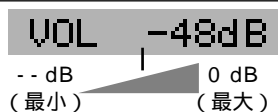
FM 76.0MHz
押すたびに　FM ⇄ AM

2

いずれかを押して
好みの放送局を受信する

ST　　：FM ステレオ放送を受信すると表示
TUNED ：正確に受信すると表示

3

押して
音量を調節する

VOL -48dB
- - dB（最小）　0 dB（最大）

■ 自動選局するには（オートチューニング）

上記の手順2で押し続け、周波数が動き出したら指を離す
放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

■ FMステレオ放送で雑音が多いときは

押す
モノラルになります。
通常は消灯（ST）にしておきます。
元に戻すには、もう一度［PLAY MODE］を押す。

押すたびに
MONO ⇄ 消灯（ST）
（強制モノラル）（自動判別）

■ TV音声 1～3 ch を聞くには

①

押して“FM”を選ぶ

②

押して、好みのTV局を受信する

FM 76.0 MHz ←-------→ FM 90.0 MHz
↕　　　　　　　　↕
TV 3 ch ←→ TV 2 ch ←→ TV 1 ch

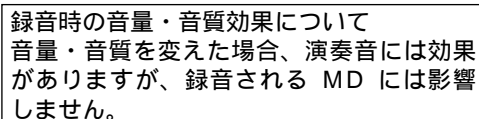
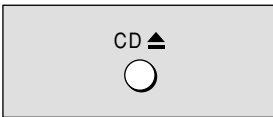
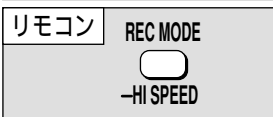
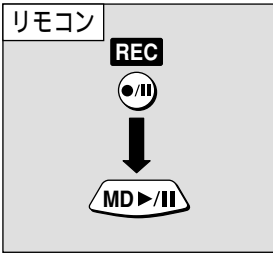
お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- パソコンと接続していると、受信時にノイズが入る場合があります。その時は、USB ケーブルを外すか、本機およびアンテナからパソコンを遠ざけてください。
- 電波が受信しにくいときや、パソコン接続をしていて雑音が多いときは、屋外アンテナの接続をおすすめします。（⇨ 57 ページ）
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

CD を MD に録音する（シンクロ録音）

CD のデジタル信号を MD にデジタルで録音します。
1枚の MD に SP、LP2、LP4 を混在させることができます。
はじめて MD を使用する場合は、58ページ「MD について」をお読みください。

STOP ■
−DEMO
⏻/I
POWER
EDIT MODE
⏮/∨　∧/⏭
DISPLAY

録音時の音量・音質効果について
音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音される MD には影響しません。

ステレオ長時間4倍（LP4）モードについて
ステレオ長時間4倍（LP4）モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
音質を重視する録音を行うときは、ステレオ（SP）モードまたはステレオ長時間2倍（LP2）モードをおすすめします。

準備： ●［⏻/I POWER］を押して電源を入れる。
●録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
（MD モードのとき、何も録音されていない MD を入れると、“ BLANK DISC ” と表示されます）

1

CD ▶/II

押して
“ CD ” を選ぶ

CD NO DISC

2

CD ⏏

押してトレイを開け
CD を入れる（⇨ 13 ページ）
もう一度押して閉める。

3

リモコン REC MODE –HI SPEED

押して
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ
モノラル録音モードはありません。

SP
録音モードが SP のとき表示

SP ：通常・ステレオ録音モード
LP2 ：ステレオ長時間（2倍）録音モード（74分ディスクで 148 分、80分で160分録音可能）
LP4 ：ステレオ長時間（4倍）録音モード（74分ディスクで 296 分、80分で320分録音可能）

4

押しながら

押す
1 曲目から録音が始まります。
“ REC ” が表示されます。
（CD の演奏が終わると、MD も停止）

CD 1 0:01 SP [REC]

■ 録音を止めるには

STOP■ –DEMO

押す
“ UTOC Write ”点滅後、
録音が完了

UTOC Write

リモコンのみ

■ 一時停止するには

押しながら

押す（“ REC ” が点滅）
MD は録音待機状態になり、CD は演奏を続けます。
トラックマークがつきます。（再開するには、もう一度同じ操作を行う）

■ MD の残り時間を知るには

SP/LP2/LP4 の各モードによって、残り時間の表示も変わります。

DISPLAY

押す
残り時間が表示されます。

MD -30:46
MD の残り時間

■ 録音レベルを調節するには

電源を切ると録音レベルは“ 0 dB ” に戻ります。
（詳しくは ⇨ 43 ページ）

停止中に、押しながら

押す
押すたびに±10 dB の範囲で調節できます。

■ 気に入った曲をすぐ録音するには（CD 追っかけ録音）

CD 演奏中に［●/II REC］を押しながら、［MD ▶/II］を押す。
曲の始めに戻って録音し、最後の曲まで終わると、MD は自動停止します。
1ソングプレイモード（⇨ 21 ページ）のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止し、［●/II REC］を押しながら［MD ▶/II］を押す。

■ “ SCMS CAN'T COPY ” と表示されたら

CD-R や CD-RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。この場合、リモコンの［EDIT MODE］を押して、“ ANALOG ” にすると、録音できます。ただし、高速録音（⇨ 24 ページ）はできません。

MD／CD の聞きかた リモコンのみ

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

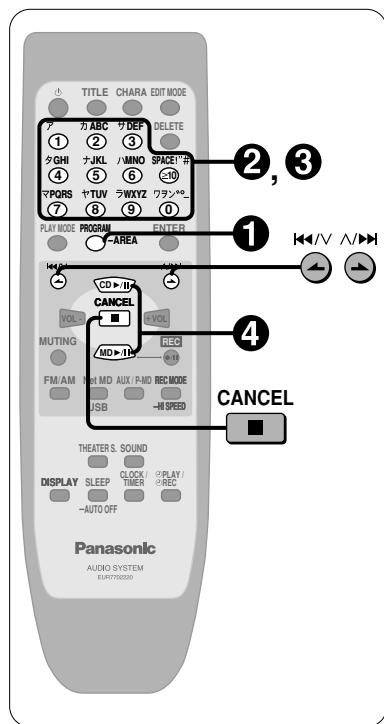
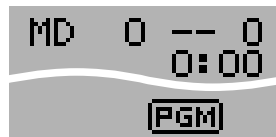
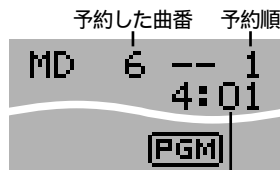
最大 24 曲まで予約できます。
準備：［MD ▶/II］または［CD ▶/II］を押して“ MD ”または“ CD ”を選び、［■CANCEL］を押す。

❶ 停止中に PROGRAM −AREA を押す

❷ ア ① カABC ② サDEF ③ タGHI ④ ナJKL ⑤ ハMNO ⑥ SPACE!"# ≧10 マPQRS ⑦ ヤTUV ⑧ ラWXYZ ⑨ ワヲン°_ ⓪ を押して、

曲番を選ぶ

予約した曲番　予約順

MD 6 -- 1
4:01
PGM

予約した曲の総演奏時間

●10 以上を選ぶには
［≧10］を1回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 24 のとき
≧10 → ② → ④

●100 以上を選ぶには（MD のみ）
［≧10］を2回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 235 のとき
≧10 → ≧10 → ② → ③ → ⑤

❸ 手順❷をくり返して、曲番を選ぶ

❹ MD ▶/II または CD ▶/II を押す
予約曲を順に演奏して、停止します。

■ 演奏を止めるには
［■ CANCEL］を押す。
（予約内容は記憶されています。）

■ プログラムを解除するには
停止中に［PROGRAM－AREA］を押して“ PGM ”を消す。
（予約内容は記憶されています。）

● もう一度同じ内容で演奏するには
①［PROGRAM－AREA］を押して、“ PGM ”を表示させる。
②［MD ▶/II］または、［CD ▶/II］を押す。

■ 予約内容を確認するには
停止中に、［◢ ⏮/∨］または［◣ ∧/⏭］を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

■ 予約を追加するには
停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

■ 予約全曲を取り消すには
停止中に、［■ CANCEL］を押す。
“ PGM CLEAR ”が表示されます。
（特定の曲のみを取り消すことはできません。）
ディスクを取り出した場合も取り消されます。

■“ PGM FULL ”と表示されたら
予約曲数が 24曲を超えました。これ以上は予約できません。

■ 曲の総演奏時間が“ ーー：ーー ”と表示されたら
予約時間が250分に達しました。続けて予約できます。

■ プログラムプレイ中は
- スキップは予約順に行われます。
- サーチは、MD の場合は予約順に行われ、CD の場合は演奏中の曲の中だけで行われます。
- プログラムプレイ設定中に MD の編集はできません。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を1回ずつ順不同に演奏します。
準備：［MD ▶/❚❚］または［CD ▶/❚❚］を押して“ MD ”または“ CD ”を選び、［■CANCEL］を押す。

❶ 停止中に、PLAY MODE を押して、“ RANDOM ”を選ぶ

RANDOM / RND

押すたびに
1-SONG → 1-GROUP※ → RANDOM → （元の表示）

※ 1-GROUP はグループを作った MD でのみ表示されます。

❷ MD ▶/❚❚ または CD ▶/❚❚ を押す

演奏が始まります。全曲を順不同に演奏して停止します。

■ 解除するには
停止中に、［PLAY MODE］を押し、“ RND ”を消す。

■ ランダムプレイ中は
- ランダムプレイ設定中に MD 編集はできません。
- 前の曲にスキップすることはできません。
- サーチは、演奏中の曲の中だけの早戻し・早送りになります。

1曲を聞く（1ソングプレイ）

好みの1曲のみ再生します。
準備：［MD ▶/❚❚］または［CD ▶/❚❚］を押して“ MD ”または“ CD ”を選び、［■CANCEL］を押す。

❶ 停止中に、PLAY MODE を押して、“ 1-SONG ”を選ぶ

1-SONG / 1-S

押すたびに
1-SONG → 1-GROUP※ → RANDOM → （元の表示）

※ 1-GROUP はグループを作った MD でのみ表示されます。

❷ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、好みの曲番を選ぶ

❸ MD ▶/❚❚ または CD ▶/❚❚ を押す

演奏が始まります。1曲演奏して停止します。

■ 解除するには
停止中に、［PLAY MODE］を押し、“ 1-S ”を消す。

■ 手順❷で数字ボタンを押して曲を演奏することもできます。（ダイレクトプレイ ⇨ 13、15 ページ）

お知らせ
- 1ソングプレイ設定中に MD の編集はできません。

演奏をくり返す（リピートプレイ）

❶ 演奏前または演奏中に“ REPEAT ON ”と表示するまで、PLAY MODE を押し続ける

REPEAT ON

■ 解除するには
“ REPEAT OFF ”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける。

■ 好みの曲をくり返すには
① 好みの曲をプログラムする。（⇨ 20 ページ）
②“ REPEAT ON ”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける。

お知らせ
- リピートプレイ設定中に MD の編集はできません。

■ 1曲をくり返すには
①“ 1-SONG ”を選び、好みの曲を選ぶ。（⇨ 上記）
②“ REPEAT ON ”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける。

■ ランダム演奏をくり返すには
①“ RANDOM ”を選ぶ。（⇨ 上記）
②“ REPEAT ON ”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける。

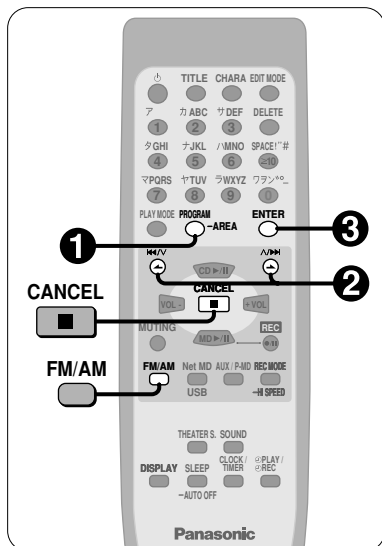
放送局を記憶させて聞く リモコンのみ

記憶させる

● 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
● FM、AM とも、15局ずつ記憶させることができます。

お住まいの地域を指定する（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

準備：
［FM/AM］を押して、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。
どちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。

❶ **地域名を表示するまで、PROGRAM -AREA を押し続ける**

“ PGM ” が点滅します。

AREA
11 トウキョウケン
PGM

（お住まいが大阪圏の場合）

❷ **⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、エリア番号（下記参照）を選ぶ**

AREA
24 オオサカケン
PGM

❸ **ENTER を押して確定する**

エリアに記憶されている最初の周波数と放送局名を表示します。

FM 76.5MHz
FM COCOLO

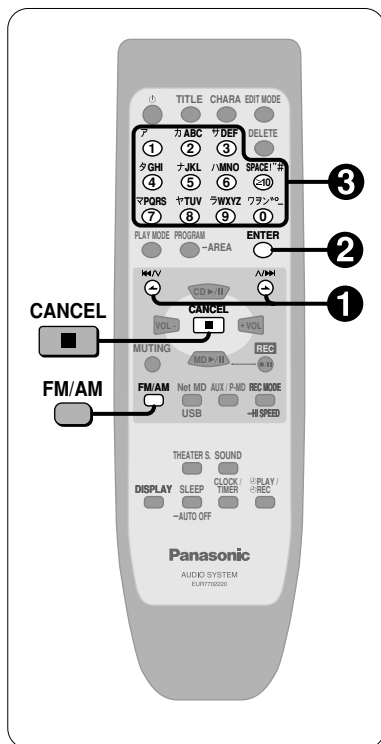
■ 途中で解除するには
［■ CANCEL］を押す。
元の表示に戻ります。

エリアバンク（放送局の内容は、2001 年 10 月現在のものです。）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	21	大津	31	松山
2	青森	12	甲府	22	奈良	32	高知
3	秋田	13	松本	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	14	静岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	25	鳥取	35	佐賀
6	仙台	16	津	26	松江	36	長崎
7	福島	17	新潟	27	広島	37	大分
8	宇都宮	18	富山	28	山口	38	熊本
9	水戸	19	金沢	29	高松／岡山	39	宮崎
10	前橋	20	福井	30	徳島	40	鹿児島
						41	那覇

好みの局だけ指定する（マニュアルメモリー）

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させることができます。

準備：
［FM/AM］を押して、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。

❶ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、**周波数を合わせる**

❷ ENTER **を押す**

FM 80.2MHz
PGM

❸ **“ PGM ” 点滅中に**

ア 1　カABC 2　サDEF 3
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6　SPACE!"# ≧10
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9　ワヲン゛゜_ 0

を押して、チャンネルを指定する

10以上のチャンネルを選ぶには
（例）12： ≧10 → 1 → 2

● ［◢ ⏮/∨］または［◣ ∧/⏭］を押してチャンネルを選び、［ENTER］を押しても指定できます。

FM 80.2MHz
CH 12
チャンネル

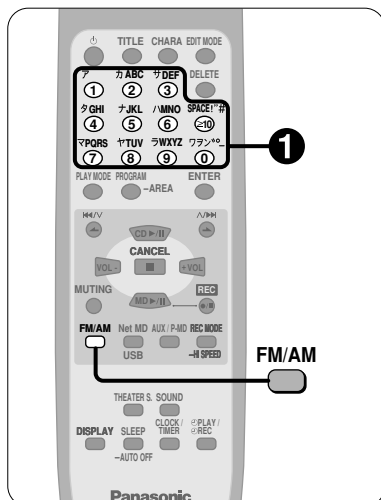
続けて記憶させるには手順 ❶～❸ を繰り返す

■ 途中で解除するには

［■ CANCEL］を押す。
元の表示に戻ります。

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

準備：
［FM/AM］を押して、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。（TV音声受信時は “ FM ”）

❶
ア 1　カABC 2　サDEF 3
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6　SPACE!"# ≧10
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9　ワヲン゛゜_ 0

を押して、チャンネルを選ぶ

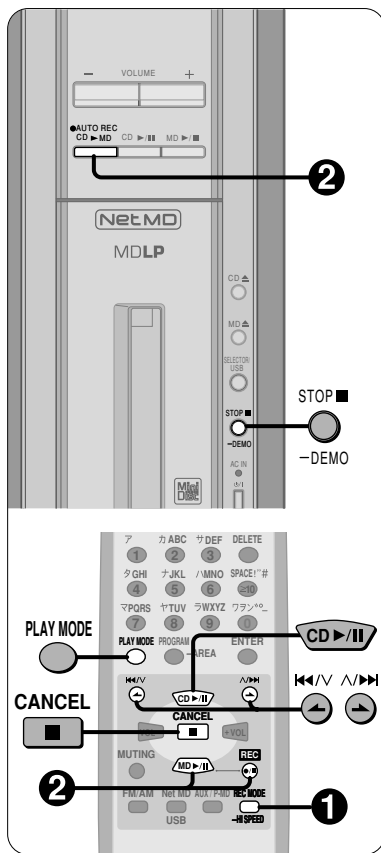
エリアバンクに記憶されている放送局のときは、チャンネル表示から放送局名の表示になります。

10以上のチャンネルを選ぶには
（例）12： ≧10 → 1 → 2

FM 76.5MHz
CH 1

いろいろな録音

CD を高速（最大4倍速）で録音する

CD から MD へ最大4倍速での録音が可能です。これにより、74分のディスクの録音を約23分で完了することができます。
ディスクによっては、4倍速にならない場合があります。（CD-RW は2倍速になります。）

準備：
① 録音用 MD を入れる。（➪ 15 ページ）
② CD トレイを開き、CD を入れる。（➪ 13 ページ）
（CD トレイは閉める）
③［CD ▶/II］を押して“ CD ”を選び、［■CANCEL］を押す。
④［REC MODE −HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（➪ 19 ページ）

❶ “ HIGH-SPEED ”と表示するまで、REC MODE −HI SPEED を押し続ける

HIGH-SPEED
HI-SPEED

❷ ●AUTO REC CD▶MD を押す
または
REC ●/II を押しながら MD ▶/II を押す

CD 1
0:01
SP
[REC]
HI-SPEED

録音が始まります。
録音中の音声は聞こえません。
全曲の録音が終了すると、停止します。

■ 録音を止めるには
［STOP■ −DEMO］を押す。“ UTOC Write ”の点滅後、録音が停止します。

■ 高速録音を取り消すには
［REC MODE −HI SPEED］を押し続けて、“ HI-SPEED ”を消す。

■ 1曲のみを録音するには
①［PLAY MODE］を押して、“ 1-SONG ”を選ぶ。（➪ 21 ページ）
②［◢ ⏮/∨］または［◣ ∧/⏭］を押して、好みの1曲を選ぶ。
③“ HIGH-SPEED ”と表示するまで、［REC MODE −HI SPEED］を押し続ける。
④［●/II REC］を押しながら、［MD ▶/II］を押す。

お知らせ

- ［● AUTO REC CD ▶ MD］を押して録音を始めると、録音されたトラック全部をひとつのグループとして記録します。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- 高速録音と、プログラム、リピート、ランダムプレイ、追っかけ録音を組み合わせて使うことはできません。
- 録音レベルを変えることはできません。
- CD の状態によって、音飛びや、MD にノイズが記録されることがあります。この場合、一度 CD を取り出し、きれいに拭いたあと定速録音を行うと改善される場合があります。

高速録音の制限について

高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用していますので以下の制限があります。

■ この製品は、録音を開始した時点から74分間は、同じ曲を高速で録音することができないようになっています。

- たとえば20分間で録音が終わったときは、あと54分間は、その曲を高速で録音できません。(定速では録音できます。)
- 74分以内に高速録音しようとすると、“ PLEASE WAIT ○○min ”（○○は数字）が数秒間表示されます。
- 録音を途中で止めたときも、同じ曲を続けて高速で録音することはできません。

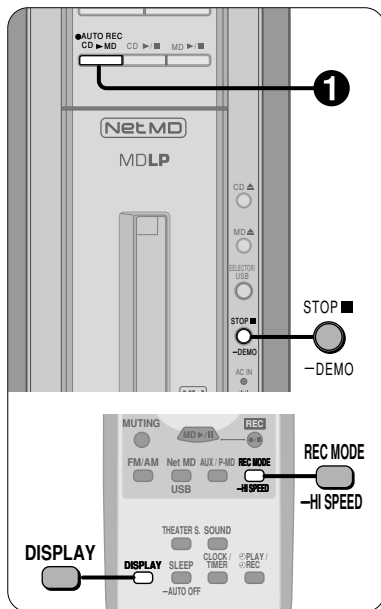
■一度に75曲まで録音できます。

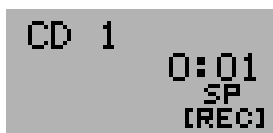
- 高速録音を始めて74分以内に75曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、76曲目の録音はできません。
- 録音途中で76曲目になった場合、“ CAN NOT RECORD ”が点滅表示され75曲までの録音が終了します。（この場合、［STOP■ −DEMO］を押すと表示が解除されます。）

CD の全曲を丸録りする

CD の全曲を簡単に MD に録音できます。自動的に入力が CD に切り換わり、録音が始まります。
準備：
① 録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② CD トレイを開き、CD を入れる。（⇨ 13 ページ）（CD トレイは閉める）
③ MD モード以外で［REC MODE −HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）

❶

を押す

録音が始まります。
全曲の録音が終了すると、停止します。

CD 1 0:01 SP [REC]

■ 途中で解除するには
［STOP■ −DEMO］を押す。
“ UTOC Write ” が点滅した後、録音が停止します。

■ MD の残り時間を知るには
［DISPLAY］を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ
- 録音されたトラック全部をひとつのグループとして記録します。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- プレイモード、プログラム、リピートは解除になります。
- 高速録音の設定になっている場合は、［DISPLAY］を押して MD の残り時間を表示すると、“ HI-SPEED ” が数秒間表示されます。（CD モードのときは、常に表示）

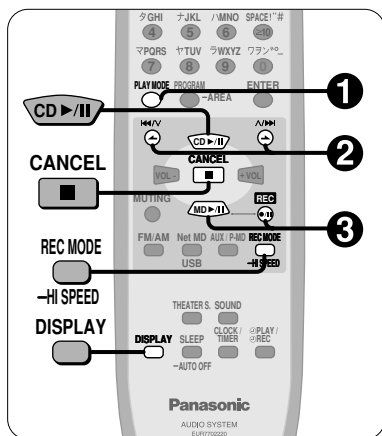
いろいろな録音（つづき）

CD の1曲をねらい録りする

リモコンのみ

CD の好みの1曲を MD に録音します。

準備：

① 録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② CD トレイを開き、CD を入れる。（⇨ 13 ページ）（CD トレイは閉める）
③［CD ▶/II］を押して " CD " を選び、［■ CANCEL］を押す。
④［REC MODE －HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）

❶ 停止中に PLAY MODE を押して、" 1-SONG " を選ぶ

1-SONG
1-S

❷ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、曲番を選ぶ

CD 2 3:45

❸ REC ●/II を押しながら MD ▶/II を押す

録音が始まります。
1曲の録音が終了すると、停止します。

CD 2 0:01 SP [REC] 1-S

■ 録音を止めるには

［■ CANCEL］を押す。" UTOC Write " が点滅した後、録音が停止します。

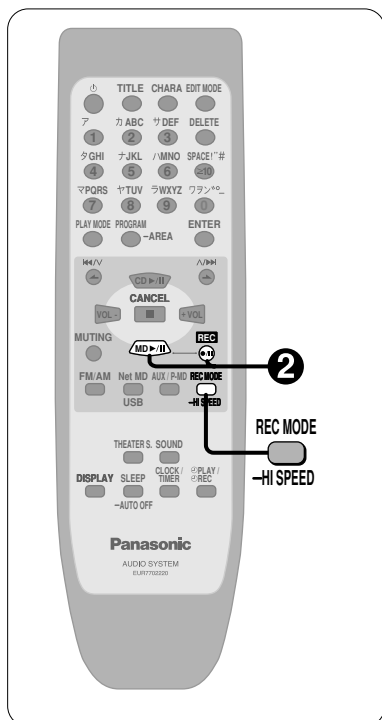
■ MD の残り時間を知るには

［DISPLAY］を残り時間表示になるまで数回押す。

■ 1-SONG モードを解除するには

停止中に［PLAY MODE］を押し、" 1-S " を消す。

CD の好みの曲だけを録音する

リモコンのみ

準備：

① 録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② CD トレイを開き、CD を入れる。（⇨ 13 ページ）（CD トレイは閉める）
③ MD モード以外で［REC MODE－HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）

❶ 録音したい曲をプログラムする

（⇨ 20 ページ ❶～❸）

❷ REC ●/II を押しながら MD ▶/II を押して、録音を始める

予約曲の録音を終了すると、停止します。

ラジオを録音する

リモコンのみ

ラジオのアナログ信号をデジタル信号に変換して MD に録音します。

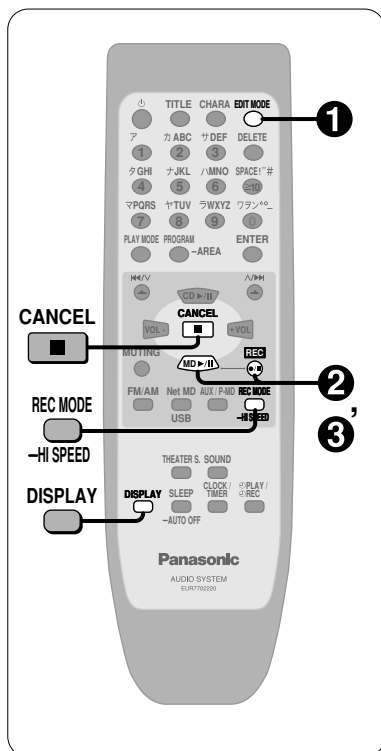
準備：

① 録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② 録音したい放送局を受信する。（⇨ 17 ページ）
③ [REC MODE ーHI SPEED] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）

❶ EDIT MODE を押して、録音モードを選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL → TURN BACK
↑ ↓
TURN/TIME ← TIME MARK

❷ REC ●/II を押しながら MD ▶/II を押す

TURN BACK、TURN/TIME 以外を選択時は録音が始まります。

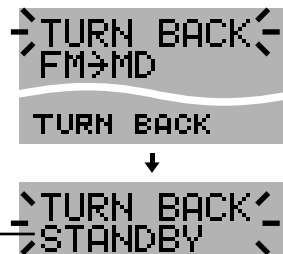
FM 76.5MHz
FM→MD
SP
[REC]

TURN BACK、TURN/TIME 選択時は

（例）TURN BACK 選択時

TURN BACK
FM→MD

TURN BACK

↓

“ STANDBY ” が点滅するまでお待ちください。

TURN BACK
STANDBY

❸ REC ●/II を押しながら MD ▶/II を押す

録音が始まります。

録音モード

MANUAL（マニュアル）	：	通常の録音です 録音中に［EDIT MODE］を押すと、“ TR_MARKING ” と表示され、その時点にトラックマーク（⇨ 58 ページ）が付きます。
TURN BACK（ターンバック）	：	頭切れを防ぐために、数秒前から録音します。ラジオなどを録音するときに使います。
TIME MARK（タイムマーク）	：	5分おきにトラックマークが自動的に付きます。ラジオなどを録音するときに使います。
TURN/TIME（ターンタイム）	：	数秒前の音から録音し、5分おきにトラックマークが自動的に付きます。ラジオなどを録音するときに使います。

■ 録音を止めるには

［■ CANCEL］を押す。“ UTOC Write ” の点滅後、録音が停止します。

■ 一時停止するには

［●/II REC］を押しながら、［MD ▶/II］を押す。トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度同じ操作を行う。）

■ MD の残り時間を知るには

［DISPLAY］を残り時間表示になるまで数回押す。

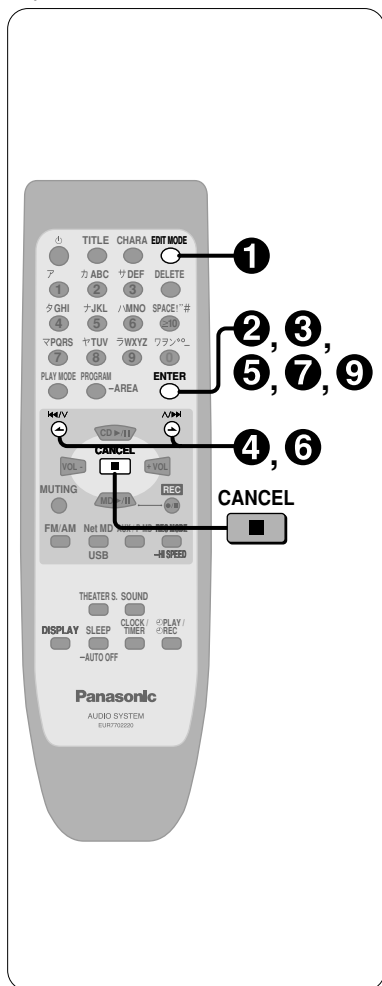
お知らせ

- エリアバンクで記憶された放送局を録音すると、放送局名が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。
- 本機では、モノラル長時間録音（ステレオで入力した音声をモノラルで MD に録音することで録音時間を2倍にする）はできません。
- AM 放送を録音するときは、AM ループアンテナと本体をできる限り離してください。近づけると、ノイズの原因になることがあります。

グループで聞く（MD のみ） リモコンのみ

MDLP の長時間モード (LP2/LP4) を使うと、1枚の MD に多数の曲を録音できます。
これらの曲をいくつかのグループにわけて、グループごとに聞いたり、タイトルを付けたりすることができます。

曲をグループにまとめる

例）3曲目～5曲目までをひとつのグループにする

❶ 停止中に、EDIT MODE を押して、「GROUP?」を選ぶ

GROUP?

押すたびに
TR ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP?

❷ ENTER を押して、グループモードにする

GROUP SET?

「GROUP SET?」が表示されます。
全曲ともグループに入っている場合は、「SET?」は選べません。

❸ ENTER を押して確定する

GROUP 1?

❹ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、グループの最初の曲を選ぶ

GROUP 3?

❺ ENTER を押して、曲を確定する

GROUP 3 → 3?

❻ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、グループの最後の曲を選ぶ

GROUP 3 → 5?

❼ ENTER を押して、曲を確定する

GROUP 1

❽ グループの名前を付ける
（⇨ 35 ページ）

❾ ENTER を押して実行する

UTOC Write

「UTOC Write」の点滅後、グループが完成します。

■ 途中で止めるには

［■ CANCEL］を押す。

■ グループ名を変更するには

グループタイトルを変更したり、新しく付けたりできます。
① 停止中に［EDIT MODE］を押して、「GROUP?」を選ぶ。
② ［ENTER］を押して、グループモードにする。
③ ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押して、「TITLE?」を選ぶ。
押すたびに
SET? ↔ **TITLE?**
↕ ↕
ALL RELEASE? ↔ RELEASE?
④ ［ENTER］を押して確定する。
⑤ ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押して、変更するグループを選ぶ。
⑥ ［ENTER］を押して、グループを確定する。
⑦ グループ名を入力する。（⇨ 35 ページ）
⑧ ［ENTER］を押して実行する。
「UTOC Write」が表示されます。

■ グループを解除するには

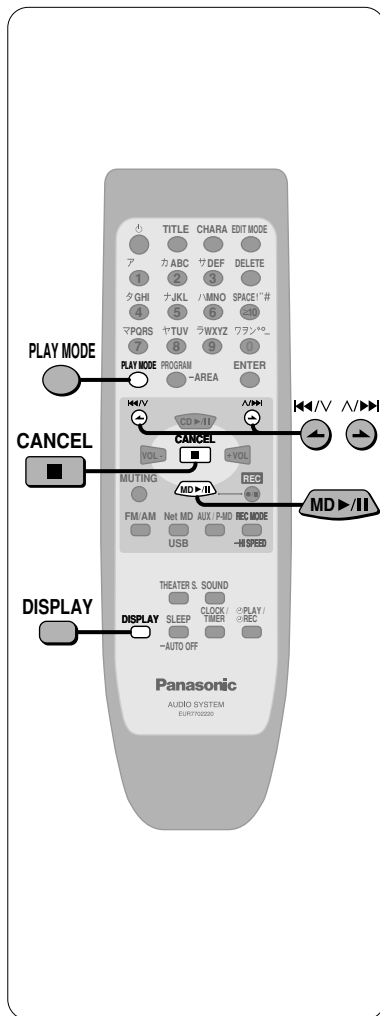
● ひとつのグループを解除するには
① 停止中に［EDIT MODE］を押して、「GROUP?」を選ぶ。
② ［ENTER］を押して、グループモードにする。
③ ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押して、「RELEASE?」を選ぶ。
④ ［ENTER］を押して確定する。
⑤ ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押して、解除したいグループを選ぶ。
⑥ ［ENTER］を押して確定する。
⑦ ［ENTER］を押して実行する。
「UTOC Write」が表示されます。

● 全グループを解除するには
① 停止中に［EDIT MODE］を押して、「GROUP?」を選ぶ。
② ［ENTER］を押して、グループモードにする。
③ ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押して、「ALL RELEASE?」を選ぶ。
④ ［ENTER］を押して確定する。
⑤ ［ENTER］を押して実行する。
「UTOC Write」が表示されます。

● グループは最大99個までつくれます。（UTOC エリアの空き状況により異なります。）
● グループにできるのは、連続した曲（例：1曲目〜10曲目）のみです。
曲が離れている場合（例：3曲目と7曲目と9曲目）はグループにできません。
● 1曲だけでもグループにできます。

お知らせ

・1曲を複数のグループに入れることはできません。
・グループの順番は作成した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
・本機でグループを作った MD を、さらに、グループ機能がない機種で編集操作を行った場合、グループ管理情報が使えなくなる可能性があります。
・本機でグループを作った MD を、グループ機能のない機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。

グループごとに聞く

まず、グループを作ってください。（⇨ 28 ページ）

1グループのみを聞く（1グループプレイ）

① ［MD ▶/II］を押して“MD”を選び、［■ CANCEL］を押す

② ［⏮/∨］または［∧/⏭］を押し続けてグループを選ぶ

③ ［PLAY MODE］を押して“1-GROUP”を選ぶ

1-GROUP
1-G

④ ［MD ▶/II］を押して再生を始める。

■ 解除するには
停止中に、［PLAY MODE］を押し、“1-G”を消す。

●1グループプレイ設定中に MD の編集はできません。

グループを前後に飛び越す（グループスキップ）

停止中に、聞きたいグループになるまで、［⏮/∨］または［∧/⏭］を押し続ける

グループ番号
MD 1 G01
JPOP
グループタイトル

1グループをくり返す（1グループリピート）

① 1グループプレイの設定をする。
（⇨ 上記）

② “REPEAT ON”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける

REPEAT ON
1-G

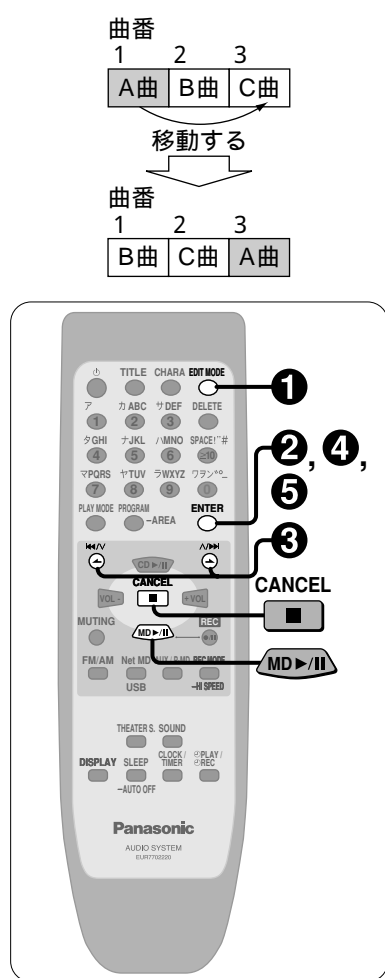
■ 解除するには
“REPEAT OFF”と表示するまで、［PLAY MODE］を押し続ける。

グループ名を表示させる

グループ名を表示するまで DISPLAY を数回押す。

MD を編集する リモコンのみ

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。（録音用 MD のみ）
曲をグループにまとめた（⇨ 28 ページ）MD で編集作業を行うと、編集内容に応じてグループ情報も自動的に更新されます。
準備：編集したい MD を入れる。（⇨ 15 ページ）

曲を移動する（ムーブ）

❶ **移動したい曲の演奏中に、EDIT MODE を押して、“ MOVE? ” を選ぶ**

❷ **ENTER を押して確定する**

MOVE
1 → -?

❸ **|◀◀/∨ または ∧/▶▶| を押して、移動先を選ぶ**

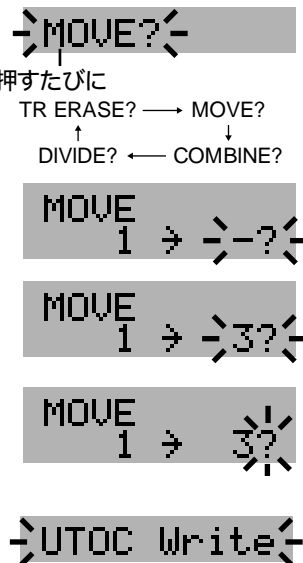
MOVE
1 → 3?

❹ **ENTER を押して、移動先を確定する**

MOVE
1 → 3?

❺ **ENTER を押して実行する**

UTOC Write

“ UTOC Write ” の点滅後、編集が完了します。

■ 途中で解除するには

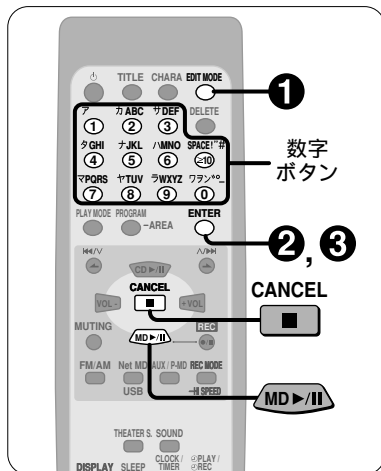
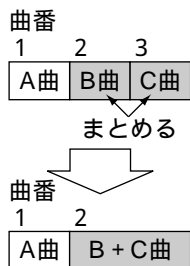
［■ CANCEL］を押す。

■ 停止中でもできます

① ［MD ▶/II］を押して “ MD ” を選び、［■ CANCEL］を押す。
② ［EDIT MODE］を押して、“ MOVE? ” を選ぶ。
③ ［ENTER］を押して確定する。
④ ［◢ |◀◀/∨］または［◣ ∧/▶▶|］で移動する曲を選ぶ。
⑤ ［ENTER］を押して、移動する曲を確定する。
⑥ ［◢ |◀◀/∨］または［◣ ∧/▶▶|］で移動先を選ぶ。
⑦ ［ENTER］を押して、移動先を確定する。
⑧ ［ENTER］を押して実行する。

お知らせ

- グループを作った MD で曲を移動しようとすると “ GROUP DATA FULL ” と表示され、移動ができない場合があります。その場合は、グループを1つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

2曲を1つにまとめる（コンバイン）

❶ まとめる2曲の後ろの曲の演奏中に、EDIT MODE を押して、“ COMBINE? ” を選ぶ

COMBINE?

押すたびに

TR ERASE? ⟶ MOVE?
↑ ↓
DIVIDE? ⟵ **COMBINE?**

❷ ENTER を押して確定する

COMBINE
2+ 3?

曲のつなぎ目の前後をくり返し演奏します。
（SP では8秒間、LP2 では16秒間、LP4 では32秒間）

❸ ENTER を押して実行する

UTOC Write

“ UTOC Write ” の点滅後、編集が完了します。

■ 途中で解除するには

［■ CANCEL］を押す。

■ 編集の前の状態に戻すには

ディバイド機能（➪ 32 ページ）をお使いください。

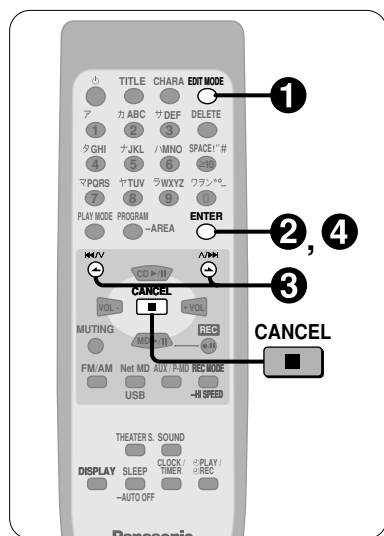
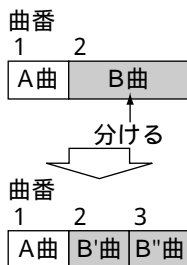
■ 停止中でもできます

① ［MD ▶/II］を押して “ MD ” を選び、［■ CANCEL］を押す。
② ［EDIT MODE］を押して “ COMBINE? ” を選ぶ。
③ ［ENTER］を押して確定する。
④ 数字ボタンを押して、まとめる2曲の後ろの曲を選ぶ。
⑤ ［ENTER］を押して実行する。

お知らせ

- 2曲を1つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- 異なるモード（SP/LP2/LP4）で録音された曲は、1つにまとめられません。
- LP4 モードで録音された曲をつなげると、つないだ部分で左右のチャンネル間で若干の音漏れを生じる場合があります。
- Net MD でパソコンから録音した曲をつなげると、チェックインできなくなります。（➪ 55 ページ）

1曲を2つに分ける（ディバイド）

準備：編集したい MD を入れる。（⇨ 15 ページ）

❶ 2つに分ける曲の演奏中に、EDIT MODE を押して、“ DIVIDE? ” を選ぶ

押すたびに
TR ERASE? ⟶ MOVE?
↑ ↓
DIVIDE? ⟵ COMBINE?

❷ おおよその分けたい位置で ENTER を押す

分けた位置から SP では4秒、LP2 では8秒、LP4 では16秒間を繰り返し演奏します。

DIVIDE
⬇
POSITION
0?

❸ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して正確な位置を調節する

SP では前後8秒、LP2 では前後16秒、LP4 では前後32秒の範囲で調節できます。
数値は −128 から +127 の範囲で表示されます。

❹ ENTER を押して実行する

“ UTOC Write ” 点滅後、編集が完了します。
分けた位置にトラックマークが付きます。

UTOC Write

CANCEL

■ 途中で解除するには

[■CANCEL] を押す。

■ 編集前の状態に戻すには

コンバイン機能（⇨ 31 ページ）をお使いください。

お知らせ

- タイトルの付いた曲を2つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。
- グループを作った MD で2曲に分けようとすると “ GROUP DATA FULL ” と表示され、分けられない場合があります。その場合は、グループを1つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。
- LP4 モードで録音した曲を2つに分けると、分けた部分で左右のチャンネル間で若干の音漏れを生じる場合があります。
- Net MD でパソコンから録音した曲を分けると、チェックインできなくなります。（⇨ 55 ページ）

曲を消す（イレース）

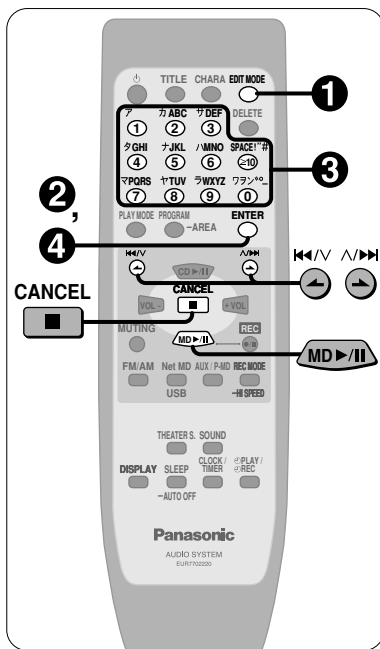
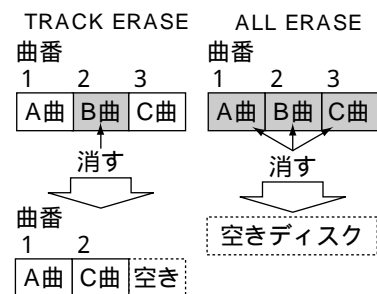
イレースには次の2種類があります。

TRACK ERASE（トラック イレース）**：**1曲／数曲（最大24曲）を消したいとき

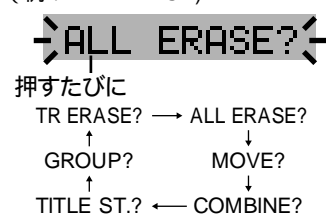
ALL ERASE（オール イレース）**：**1度に全曲を消したいとき

準備：

① 編集したい MD を入れる。（⇨ 15 ページ）

②［MD ▶/II］を押して“ MD ”を選び、［■ CANCEL］を押す。

❶ 停止中に、 EDIT MODE **を押して、**

“ TR ERASE? ”または
“ ALL ERASE? ”を選ぶ

（例：ALL ERASE）

ALL ERASE?

押すたびに

TR ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TR ERASE?

❷ ENTER **を押して確定する**

（ALL ERASEのとき）

（TRACK ERASEのとき）

TR ERASE

❸（TRACK ERASE のときのみ）

1〜9, 0, ≧10 **を押して、**

TR ERASE 2?

選んだ曲

消したい曲番を選ぶ

続けて入力したいときは手順 ❸ をくり返す

❹ ENTER **を押して実行する**

UTOC Write

TRACK ERASE：

“ UTOC Write ”の点滅後、編集が完了します。

ALL ERASE：

“ UTOC Write ”→“ BLANK DISC ”が表示され、編集が完了します。

■ 途中で解除するには

［■ CANCEL］を押す。

■ 消す曲を数曲入力した後、確認するには

手順 ❹ の前に［◀ ⏮/∨］または［▶ ∧/⏭］を押すと、入力した曲が順に表示されます。

また、曲番が表示されているときに［■ CANCEL］を押すと、その曲のイレースを取り消すことができます。

■“ OVER ”と表示されたら

24曲を越えて消そうとしました。1回の操作ではこれ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。

■ 全曲消すと

ディスクタイトル、トラックタイトル、グループタイトルはすべて消えます。

■ トラックイレースは演奏中（または一時停止中）でもできます

① 消したい曲を演奏（または一時停止）する。

②［EDIT MODE］を押して、“ TR ERASE? ”を選ぶ。

③［ENTER］を押して確定する。

④［ENTER］を押して実行する。

お知らせ

• Net MD でパソコンから録音した曲を消すと、チェックインできなくなります。（⇨ 55 ページ）

MD にタイトルを付ける リモコンのみ

● MD の名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）が各100文字まで記録できます。
LP2/LP4 で録音した場合は、97文字になります。
● 1枚の MD にはアルファベットで約1700文字記録できます。（文字の種類、曲数の関係で、少し減ることがあります。）
● LP2/LP4 で録音した場合、曲のタイトルの先頭に「LP:」と自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数が少なくなります。（本機では「LP：」は表示されません。）またグループを作るとグループ管理情報が記録されるため、入力できる文字数は少なくなります。

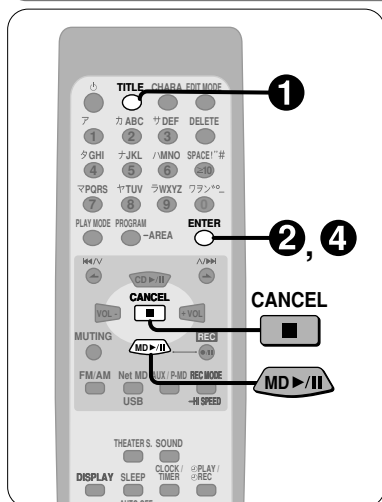
■ 文字の種類

カタカナ（大、小）：アイウエオ ｧｨｩｪｫ など
アルファベット（大）：ABCDEFG など
アルファベット（小）：abcdefg など

数字：0123456789
記号：␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ _ `
␣ は空白を意味します。

録音済み MD にタイトルを付ける

準備：
① タイトルを付ける MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
②［MD ▶/II］を押して、“ MD ”を選び、［■ CANCEL］を押す。

ディスクタイトルをつける

❶ 停止中に、TITLE を押す

DISC?
TITLE

❷ ENTER を押して確定する

タイトル入力画面になります

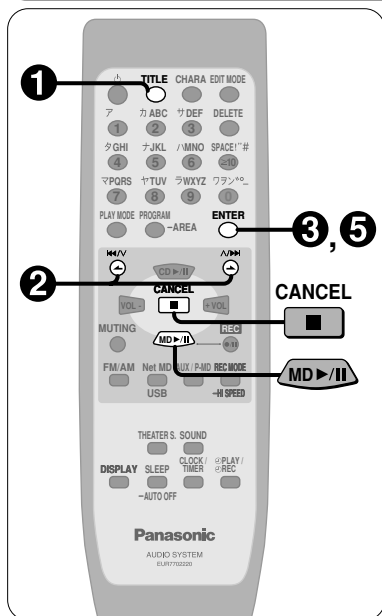
DISC
カーソル

❸ 文字を入力する（⇨ 35 ページ）

❹ ENTER を押して実行する

UTOC Write

“ UTOC Write ”点滅後、タイトル入力が完了。トラックタイトルの入力待機画面になります。
続けてトラックタイトルを付けるときは、下記手順 ❸ から操作してください。

トラックタイトルをつける

❶ 停止中に、TITLE を押す

❷ ⏮/∨ または ∧/⏭ を押して、曲番を選ぶ

❸ ENTER を押して確定する

タイトル入力画面になります

❹ 文字を入力する（⇨ 35 ページ）

❺ ENTER を押して実行する

UTOC Write

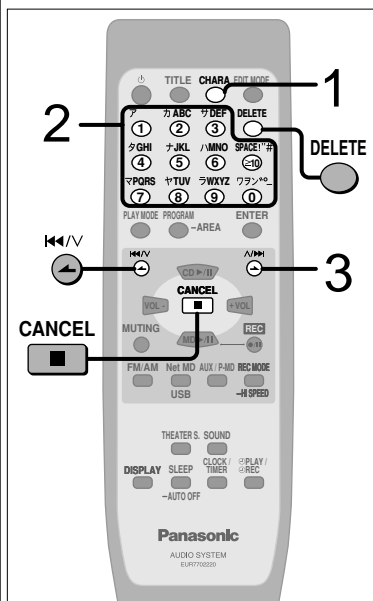
“ UTOC Write ”点滅後、次のトラックタイトルの入力待機画面になります。

❷～❺ をくり返して、必要なタイトルを入力する。
最終曲のトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの入力待機画面になります。

■ 入力を止めるには

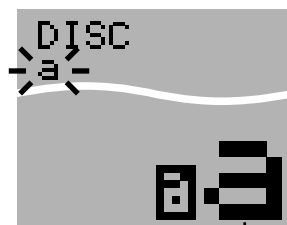
［■ CANCEL］を押す。

文字入力のしかた

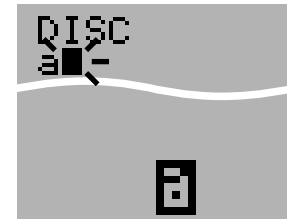
タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

1 CHARA を押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに ア→A→a→1

2 文字入力ボタンを押して、文字を選ぶ

選んだ文字がエディットアイとカーソルに表示されます。

エディットアイ

3 ∧/▶▶| を押す

文字が確定され、次の文字の入力画面になります。

● 前の文字と同じ種類の文字を入力するときは、手順**1**は不要です。

各ボタンで入力できる文字

各ボタンを押すたびに、1文字ずつ順に表示されます。

ボタン	カタカナ ア	アルファベット 大文字 A	アルファベット 小文字 a	数字 1	ボタン	カタカナ ア	アルファベット 大文字 A	アルファベット 小文字 a	数字 1
ア 1	アイウエオ アイウエオ			1	ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2	マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3	ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4	ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5	ワヲン゛゜– 0	ワヲン ゛ ゜ –			0

■ 記号を入力するには

[≥10 SPACE!"#] を押す。押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `　　（␣ は空白を意味します。）

■ 文字を削除するには

① [◢ |◀◀/∨] または [◣ ∧/▶▶|] でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
② [DELETE] を押す。カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

■ 文字の間に新しい文字や空白を入れるには

① [◢ |◀◀/∨] または [◣ ∧/▶▶|] でカーソルを動かし、挿入位置の右の文字の上に置く。
② 新しい文字を入力する。
空白を入れる場合は、[≥10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。続けて入れる場合は、[◣ ∧/▶▶|] でカーソルを動かし、[≥10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。

■ ゛ ゜ –を入力するには

[0 ワヲン゛゜–] を押して、"゛"、"゜"または"–"を選ぶ。
濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として現れません。

■ 文字を変更するには

① 変更したい文字を削除する。
② 新しい文字を入力する。

■ 入力を途中で止めるには

[■ CANCEL] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

■ 1文字あけるには

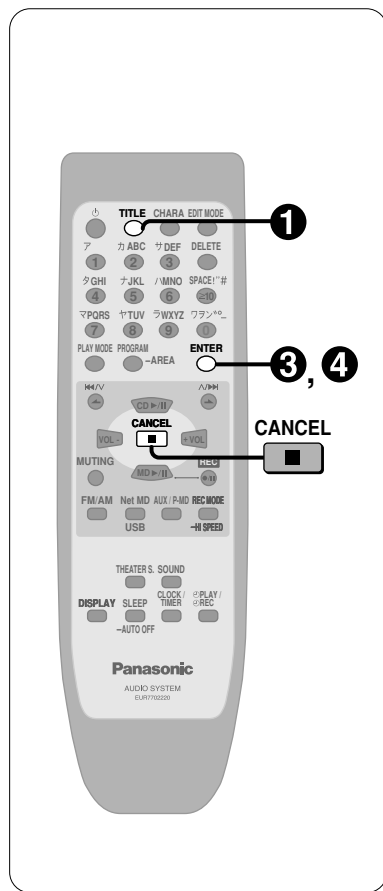
[◣ ∧/▶▶|] を押す。
カーソルが1つ右に移動します。

お知らせ

- 文字と、濁点／半濁点の間に空白などは入れられません。
- 入力中に最大文字数を超える操作をした場合は、"TITLE FULL"と表示します。
- 文字の種類は入力中でも切り換えられます。

MD にタイトルを付ける（つづき）

CD を録音中にまとめてタイトル（トラック・グループ）を付ける

● 丸録りの時は、グループタイトルと全トラックタイトルを付けることができます。
● それ以外の録音の時は、録音中のタイトルのみ付けることができます。

❶ 録音中に TITLE を押す

丸録り時：
グループタイトル入力画面になります。

それ以外の録音時：
トラックタイトル入力画面になります。

TITLE 1

❷ 文字を入力する（⇨ 35 ページ）

❸ ENTER を押して確定する

（丸録り時の表示）
TITLE 1?

丸録り時：
トラックタイトル画面になります。

それ以外の録音時：
次の曲のトラックタイトル画面になります。

❹ ENTER を押して、入力画面にする

TITLE 1

❷～❹ をくり返し、最後の曲までタイトルを入力する
（曲名を入力しなくても、［ENTER］を押すと、次の曲に進みます）

必要なタイトルを入力した後、 TITLE を押して元の表示に戻せます。

■ 途中で解除するには
［■ CANCEL］を押す。
入力が解除されます。ただし、すでに［ENTER］を押して確定したタイトルは残ります。

■ 録音した MD の演奏中にタイトルを付けることもできます（演奏中の曲のみ）
① 演奏中に［TITLE］を押す。
② 文字を入力する。（⇨ 35 ページ）
③［ENTER］を押して実行する。
“ TITLE WRITING ” と表示した後、通常の表示に戻ります。

■ CD からの録音以外は、まとめてトラックタイトルはつけられません

お知らせ

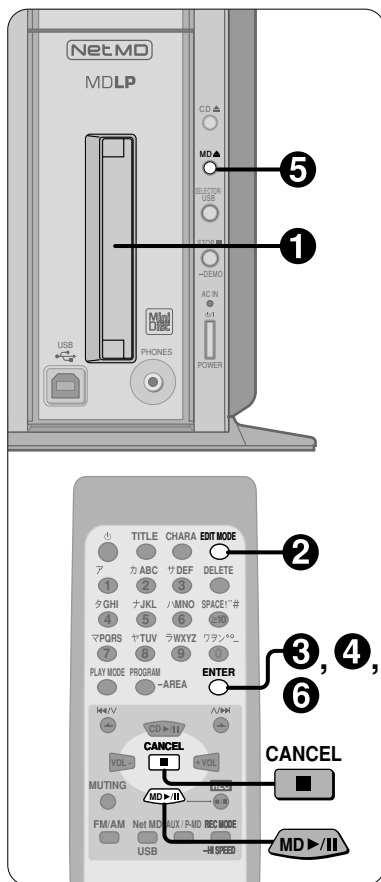
- タイトル入力中に録音／演奏が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- 入力中に録音／演奏が終了したときは、入力途中の文字も含めてタイトルの書き込みが行われた後、入力状態が解除されます。すでに［ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
- MD の録音曲数よりもタイトルの方が多い場合は、余ったタイトルは記録されません。
- 録音中に入力モードを解除しても、もう一度［TITLE］を押すと、入力モードに入ってタイトルを入力・修正できます。
- 演奏中にタイトルを付けた後、“ UTOC ” 表示中は文字入力以外の編集はできません。
  一度［■ CANCEL］を押して、“ UTOC Write ” の点滅後に行ってください。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

- MD のディスク／グループ／トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。
- 下記の「タイトルをコピーする前に」をお読みください。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

準備：
［MD ▶/II］を押して、“ MD ” を選び、［■CANCEL］を押す。

1 コピー元の MD を入れる
（⇨ 15 ページ）

2 停止中に EDIT MODE を押して “ TITLE ST.? ” を選ぶ

TITLE ST.?

押すたびに
TR ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TR ERASE?

3 ENTER を押して確定する

TITLE ST.?

4 ENTER を押して記憶させる

TITLE ST.
↓
COMPLETE
↓
CHANGE MD

5 MD⏏ を押して、コピー先の MD と入れ替える

INSERT MD
↓
Write ?

6 ENTER を押して、コピーを開始する
点滅後、コピーが完了します。

UTOC Write

■ **途中で解除するには**
［■CANCEL］を押す。

お知らせ
- 本機が記憶できるタイトルは MD 1枚分です。
- 電源を切ると本機が記憶しているタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されているとトラックタイトルの頭に「LP:」と表示されます。
- コピー元の MD にグループでまとめた曲がある場合は、グループ管理情報もコピーされます。

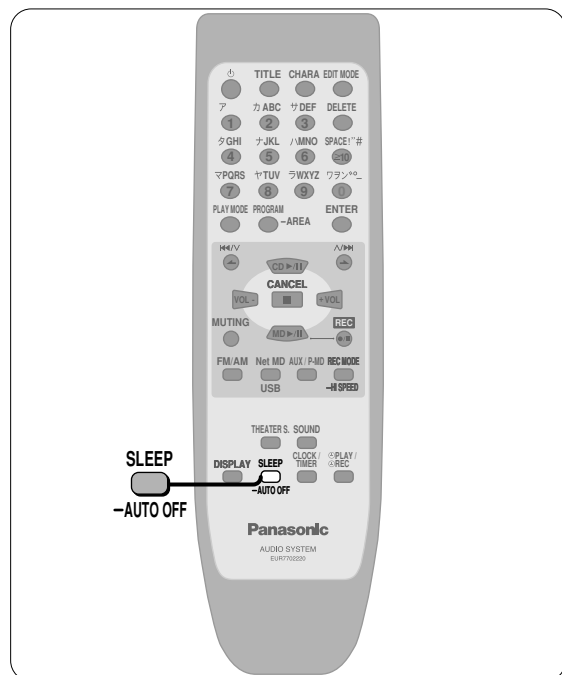
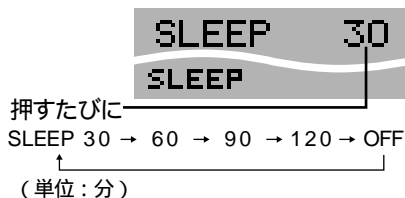
タイマーを使う

リモコンのみ

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら
SLEEP −AUTO OFF を押して、演奏時間を指定する

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 →120→ OFF
（単位：分）

■ **解除するには**
［SLEEP −AUTO OFF］を押して、“ SLEEP OFF ” を選ぶ。

■ **残り時間を確かめるには**
［SLEEP −AUTO OFF］を1回押す。
残り時間が表示されます。

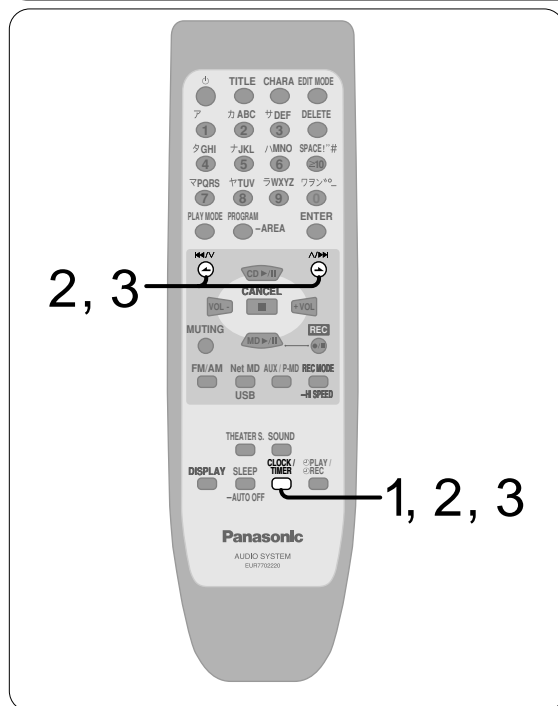
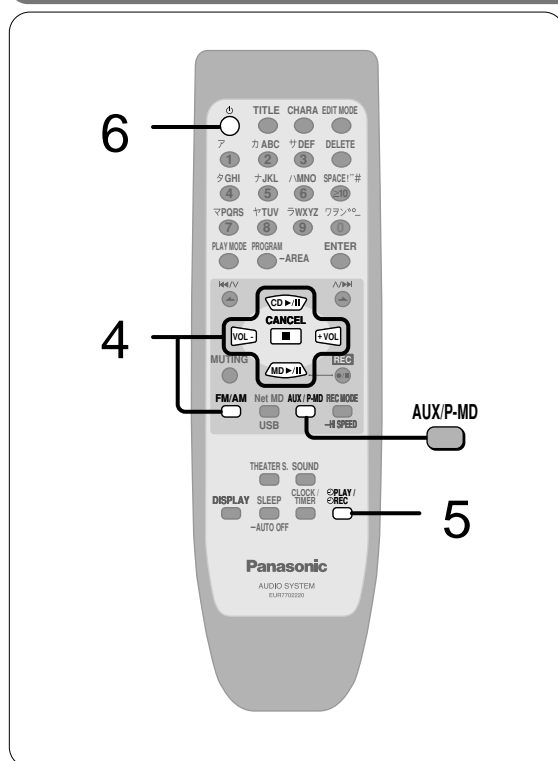
■ **残り時間を変えるには**
［SLEEP −AUTO OFF］を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ

・おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

おめざめタイマーを使う

準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➪ 10 ページ）

時刻設定

ソース・音量・タイマー実行設定

● 設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
● 一度時刻設定をしておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

表示例：6:30〜7:40 まで演奏する場合

1 CLOCK / TIMER

2回押して
おめざめタイマー時刻設定画面にする

ON --:--
OFF --:--
⊙PLAY

押すたびに
CLOCK→⊙PLAY→⊙REC →元の表示

2 ⏮/∨ ∧/⏭

押して
開始時刻に合わせ

ON 6:30
OFF 0:00
⊙PLAY

CLOCK / TIMER

押す

元の表示に戻ったときは、
手順**1**からやり直してください。

ON 6:30
OFF 6:30
⊙PLAY

3 ⏮/∨ ∧/⏭

押して
終了時刻に合わせ

CLOCK / TIMER

押す

ON 6:30
OFF 7:40
⊙PLAY

4

③ CANCEL ■

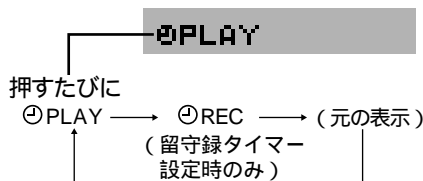
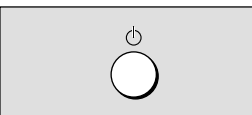
ソースと音量を選ぶ
① ソースを演奏し、
② 音量を調節し、
③ MD・CD は演奏を止める。

外部機器を使ったタイマー設定
［AUX/P-MD］を押し“ AUX ”にしたあと、接続した機器を、本機と同時刻に動作するように設定してください。

5 ⊙PLAY / ⊙REC

押して
“ ⊙ PLAY ”を選ぶ

⊙PLAY

押すたびに
⊙PLAY ⟶ ⊙REC ⟶ （元の表示）
（留守録タイマー設定時のみ）

6

押して
電源を切る

予約した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。
（動作中は、“ ⊙ PLAY ”が点滅）

■ **解除するには**
［⊙ PLAY/⊙ REC］を押して、“ ⊙ PLAY ”を消す。

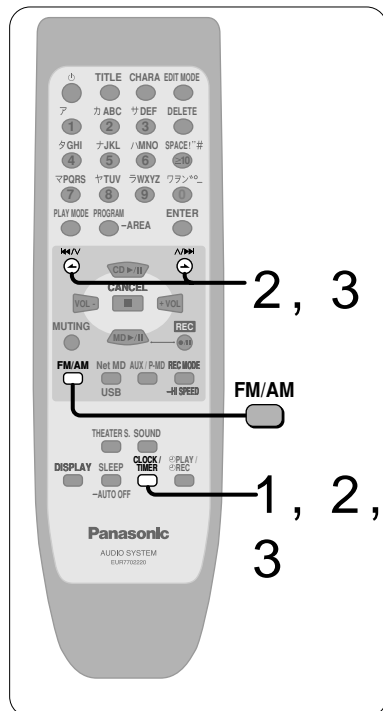
おめざめタイマーと留守録タイマーは同時には使えません。

● おめざめタイマー
● おやすみタイマー

留守録タイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

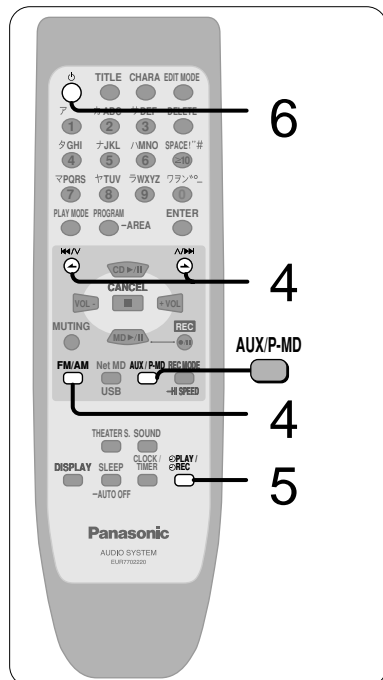
準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（⇨ 10 ページ）
③ 録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
④［FM/AM］を押して、“ FM ” または “ AM ” を選ぶ。

時刻設定

1 CLOCK / TIMER
3回押して
留守録タイマー時刻設定画面にする

2 ⏮/∨ ∧/⏭
押して
開始時刻に合わせ
⬇
CLOCK / TIMER
押す

元の表示に戻ったときは、
手順**1**からやり直してください。

3 ⏮/∨ ∧/⏭
押して
終了時刻に合わせ
⬇
CLOCK / TIMER
押す

放送局・タイマー実行設定

4 FM/AM ⏮/∨ ∧/⏭
放送局を受信する
（⇨ 17 ページ）

5 ◴PLAY / ◴REC
押して
“ ◴ REC ” を選ぶ

6 ⏻
押して
電源を切る

■ **解除するには**
［◴PLAY/◴REC］を押して、“ ◴REC ” を消す。

表示例：18:30～20:00 まで好みの放送を録音する場合

押すたびに
CLOCK→⊙PLAY→⊙**REC** →元の表示

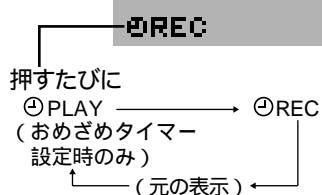
ON 18:30
OFF 0:00
⊙REC

ON 18:30
OFF 18:30
⊙REC

ON 18:30
OFF 20:00
⊙REC

外部機器を使ったタイマー設定
［AUX/P-MD］を押し“AUX”にしたあと、接続した機器を、本機と同時刻に動作するように設定してください。

⊙REC

押すたびに
⊙PLAY → ⊙**REC**
（おめざめタイマー設定時のみ）
（元の表示）

● 頭切れ防止のため、設定した時刻の30秒前になると、タイマー動作が始まります。
（動作中は、“⊙REC”が点滅）
● 録音時、音量は自動的に最小になります。

おめざめタイマーと留守録タイマーは同時には使えません。

いろいろなタイマー操作について

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

■ 予約した内容を確かめるには

電源「入」のとき：［CLOCK/TIMER］を押して、“⊙PLAY”または“⊙REC”を選ぶ。
電源「切」のとき：［CLOCK/TIMER］を押す。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。
● おめざめタイマー
開始・終了時間 → ソースと音量
● 留守録タイマー
開始・終了時間 →ソース→ SP/LP2/LP4 モード → 録音レベル

■ 留守録タイマーでモードを設定するには

● タイマー設定前に SP/LP2/LP4 のいずれかのモード（⇨ 19 ページ）を選んでおいてください。設定された時点でのモードが記憶されます。
● 手順**4**で、好みの MD 録音モード（⇨ 27 ページ）にすることもできます。（選べるモードはソースによって異なります。）
ただし、TURN BACK または TURN/TIME モードを選んでも、手順**2**で設定した開始時刻から録音が始まります。

■ 操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは

電源を入れ、最初からやり直す。

■ 予約した後に、本機で演奏を楽しむには

① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
② 演奏後は、電源を切る。
音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

■ タイマー動作する／動作しないを切り換えるには

タイマーは、“⊙PLAY”（または“⊙REC”）が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないときは［⊙PLAY/⊙REC］を押して、“⊙PLAY”（または“⊙REC”）の表示を消してください。

お知らせ

- タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。
- 留守録タイマーを使うときは、設定前に録音レベル（⇨ 43 ページ）を調節することもできます。設定された時点でのレベルが記憶されます。
- Net MD でタイマーを使うことはできません。

音質／音場を変える リモコンのみ

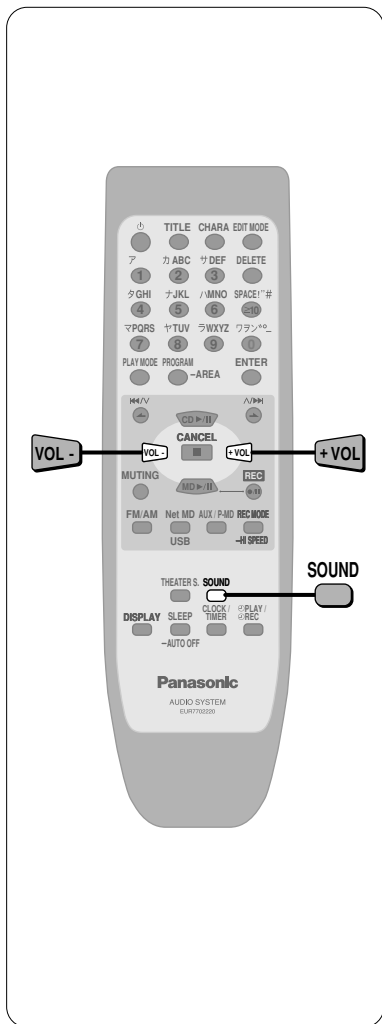
お知らせ

・イコライザーとシアターサウンドを同時に使うことはできません。

好みの音質を楽しむ（イコライザー）

MANUAL EQ（マニュアル）と **PRESET EQ**（プリセット）の2つがあります。

MANUAL EQ では低域（BASS（バス））、中域（MID（ミドル））、高域（TREBLE（トレブル））のレベル調節ができます。

PRESET EQ では HEAVY（ヘビー）、NIGHT（ナイト）、WIDE（ワイド）の3種類の音質が選べます。

MANUAL EQ を使う

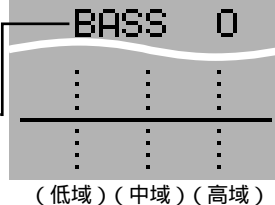
1 "MANUAL EQ"と表示するまで、SOUND を押し続ける

MANUAL EQ

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

2 SOUND を押して、調節する音域を選ぶ

BASS 0

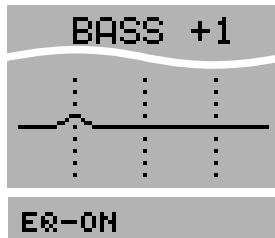
押すたびに
BASS → MID → TREBLE
（低域） （中域） （高域）

（低域）（中域）（高域）

3 4秒以内

VOL− または +VOL を押して、レベルを調節する

±4段階ずつ調節できます。

" EQ-ON " が表示されます。

BASS +1

EQ-ON

PRESET EQ を使う

1 "PRESET EQ"と表示するまで、SOUND を押し続ける

PRESET EQ

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

2 SOUND を押して、音質を選ぶ

HEAVY

押すたびに

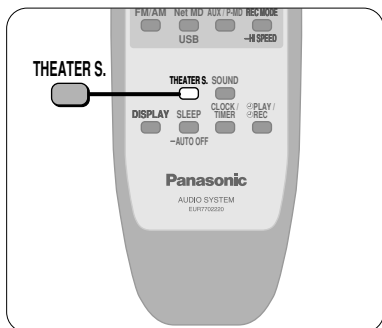
HEAVY ：ロックなど、パンチを効かせるとき

NIGHT ：夜間など、小さな音量で聞くとき
（小音量でもバランスの良い明確な音が楽しめます。）

WIDE ：音に広がりを出すとき

（元の表示）：音質効果を使わないとき

音に臨場感を与える（シアターサウンド）

音に臨場感を与え、広がりと奥行きが出ます。また、ボーカルやセリフが聞きやすくなります。

THEATER S. を押す

解除するには、もう一度押す。

- ステレオ音声に効果があります。
- ヘッドホンで聞くときは、スピーカーで聞くより効果が少なく聞こえます。

THEATER SOUND ON

お知らせ

・FM ステレオ放送を聞いていて雑音が多いときは、解除してください。

便利な機能を使う リモコンのみ

一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

MUTING **を押す**

MUTING

解除するには、もう一度押して、“ MUTING ”を消す。
または［VOL－］を押して “ - - dB ”（最小）にする。
（電源を切っても解除されます。）

表示を切り換える

本機の状態（再生・停止・録音）や、ソース（音源）によって表示する内容は異なります。

DISPLAY **を好みの表示になるまで押す**

録音レベルを調節する

録音してみて、音量に不足を感じる場合などに調節します。

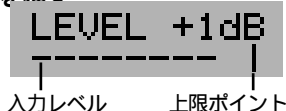
CD を MD に録音する場合

❶ **CD を演奏する**

❷ REC **を押しながら** ⏮/∨ **または** ∧/⏭ **を押す**

LEVEL +1dB

入力レベル　上限ポイント

±10 dB の範囲で調節できます。
最大音量のときに、入力レベルが上限ポイントを超えないようにしてください。

お知らせ

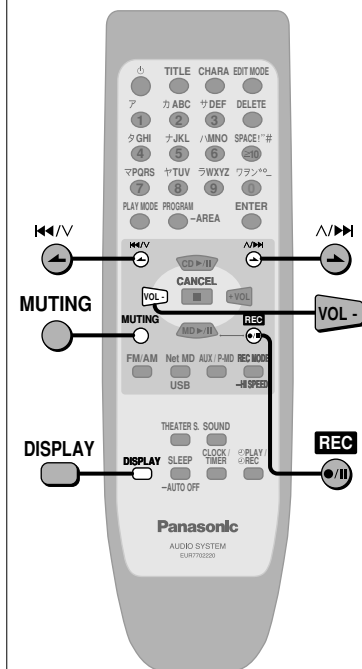
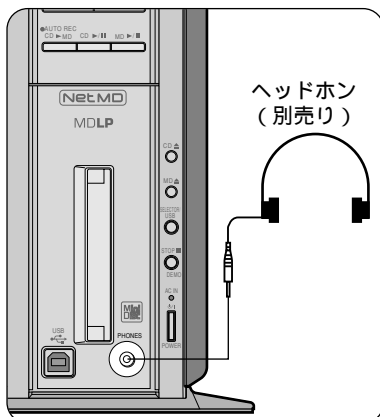
- 電源を切ると 0 dB に戻ります。
- MD、Net MD、USB オーディオモードのときは調節できません。
- 演奏中に録音レベルを変えても、スピーカーから聞こえる音は変化しません。

表示部の濃さを調節する

❶ DISPLAY **を押しつづける**

CONTRAST

❷ ⏮/∨ **または** ∧/⏭ **を押して好みの濃さに調節する**

20段階で調節できます。

ヘッドホンで聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

- プラグタイプ ： ステレオミニ（M3）
- 推奨品 ： RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

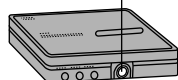
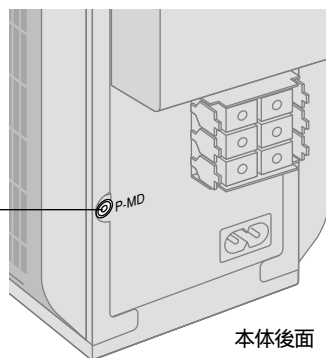
ＭＤ ネットワーク機能を使う

ＭＤ ネットワーク対応のポータブル ＭＤ プレーヤーや、ビジュアル／タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、ＭＤ の楽しさがさらに広がります。

対応品

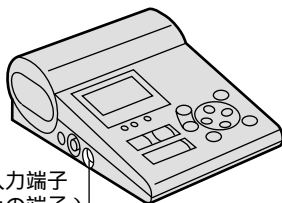
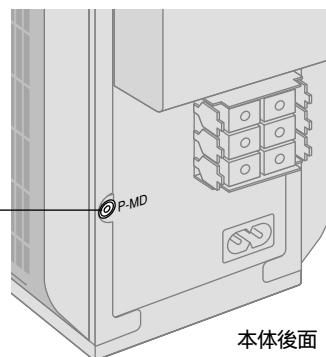
カタログにこのマークが付いている製品です。

ポータブル ＭＤ プレーヤーをつなぐ

本機からポータブル ＭＤ プレーヤーを操作して、録音／タイトル入力が簡単に行えます。
● 電源を切った状態で接続してください。

お願い

• ポータブル ＭＤ プレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ビジュアル／タイトルプリンターをつなぐ

ＭＤ に付いているタイトルを元にして、ＭＤ のラベルが印刷できます。
詳しくは、ビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

お知らせ

• グループタイトルを印刷することはできません。

お願い

• ビジュアルタイトルプリンターは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ネットワーク機能で MD から MD に録音する

リモコンのみ

- ポータブル MD プレーヤーからのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。
- 録音元 MD にタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側の MD に自動的にコピーされます。
- ポータブル MD にグループ機能がない場合、ディスクタイトルが正しくコピーされないことがあります。

準備：

① ポータブル MD プレーヤーに、**録音元 MD** を入れる。
② 本機に、**録音用 MD** を入れる。（➪ 15 ページ）
③ MD モード以外で［REC MODE －HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。（➪ 19 ページ）

全曲を録音するには

❶ AUX/P-MD **を押して、"P-MD" を選ぶ**
自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブル MD 側の総曲数が表示されます。
ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

P-MD → 総曲数 P-MD (12) SYNCHRO

> ポータブル MD 側は、適切な音量・フラットな音質に自動的に設定されます。

❷ REC ●/II **を押しながら、** MD ▶/II **を押す**
録音が始まります。
全曲の録音が終わると、停止します。

1曲ずつを録音するには

① **上記手順 ❶ の後、［ ⏮/∨］または［ ∧/⏭］を押して曲番を選ぶ。**
確認のために、選んだ曲の演奏が始まります。
② **［●/II REC］を押しながら、［MD ▶/II］を押す。**
曲の始めに戻って、録音が始まります。
1曲の録音が終わると停止します。

■ 途中で止めるには

［■ CANCEL］を押す。

■ 録音用 MD は残り時間に少し余裕のあるものを

録音元 MD にトラックマークが付いているときは、新たに録音した MD の同じ位置に、約1秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元 MD の演奏時間より長くなります。録音の失敗を防ぐために、残り時間に少し余裕のある MD をお使いください。

■ 録音が終わったら

ポータブル MD プレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

■" P-MD " が点滅したら

ボタン操作がない状態で約4分以上放置されているため、MD ネットワークが休止状態になっています。
MD ネットワーク機能を使うときは、もう一度［AUX/P-MD］を押して " P-MD " を選んでください。

■ 動作中（TOC 読み込みなど）に " P-MD ERROR " と表示されたら

MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD プレーヤーの電池残量やコードの接続を確認して、もう一度［AUX/P-MD］を押して " P-MD " を選んでください。

お知らせ

- MD ネットワーク対応の MD ステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
- 市販の演奏用 MD から録音する場合、タイトルはコピーされません。
- ディスクタイトルが付いている MD に録音した場合は、録音元の MD のディスクタイトルはコピーされません。
  また1曲ずつ録音した場合やコピー先の MD で曲をグループにまとめている場合も、ディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。

別売り機器と組み合わせて使う

ポータブル MD プレーヤー（MD ネットワーク非対応）から MD に録音

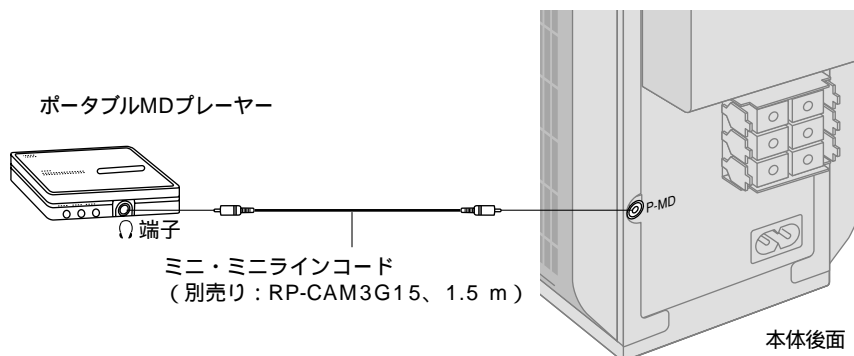
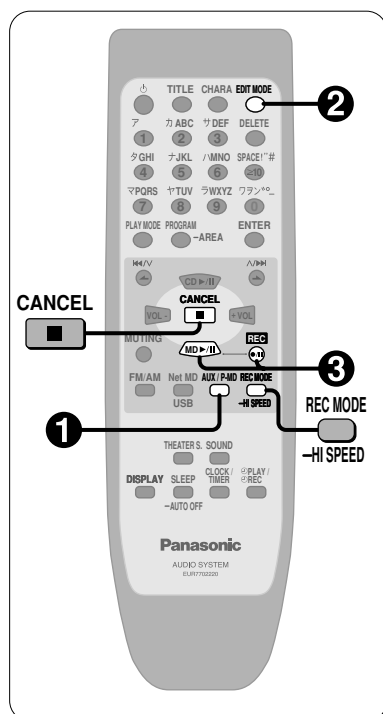
P-MD に接続する

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーの場合は、44 ページの方法で接続すると簡単に録音できます。

録音する

リモコンのみ

ポータブル MD プレーヤーからのアナログ信号をデジタル信号に変換して MD に録音します。

準備：

① ポータブル MD プレーヤーに録音元 MD を、本機に録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② MD モード以外で［REC MODE −HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）

❶ AUX/P-MD **を押して、“ P-MD ”を選ぶ**

❷ EDIT MODE **を押して、録音モードを選ぶ**（⇨ 下記）

❸ REC ●/II **を押しながら、** MD ▶/II **を押す**

“ MANUAL（マニュアル） ” 選択時は、録音が始まります。
“ SYNCHRO（シンクロ） ” 選択時は、録音待機状態になります。

❹ **ポータブルMDプレーヤーの演奏を始める**

“ SYNCHRO ” 選択時は、演奏と同時に録音が始まります。
音がひずむ場合は、ポータブル MD プレーヤーの音量を調節してください。

録音モード

ポータブル MD プレーヤーの場合は、以下の録音モードのみ選べます。

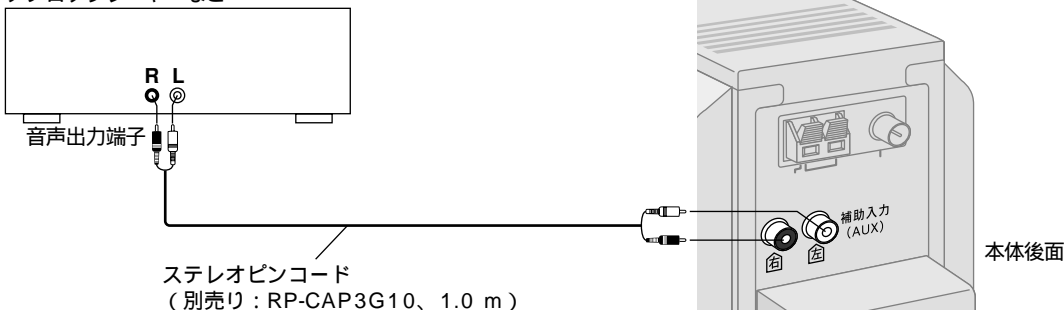
- MANUAL（マニュアル） ：通常の録音モード
- SYNCHRO（シンクロ）：接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモード
  無音の状態が約3秒続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。
  録音開始位置に、トラックマークが付きます。

  録音終了後は［■ CANCEL］を押して録音待機状態を解除してください。

■ 録音を止めるには

［■ CANCEL］を押す。

別売り機器を本機で再生／録音

補助入力（AUX）に接続する

■ アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

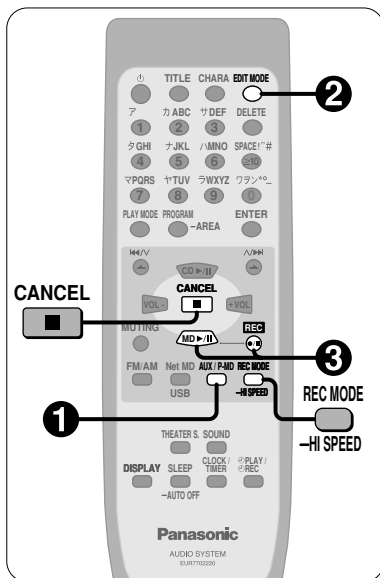
推奨品：当社製アナログプレーヤー
　　　　SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、
フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT）が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

再生／録音する

接続した機器からのアナログ信号をデジタル信号に変換してMDに録音します。

準備：

① 録音の場合は、録音用 MD を入れる。（⇨ 15 ページ）
② MD モード以外で［REC MODE －HI SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。（⇨ 19 ページ）
③ テレビ、有線放送、CS/BS チューナーの場合は好みの放送局を受信する。

❶ AUX/P-MD を押して、“ AUX ”を選ぶ

再生のときは、接続した機器の演奏を始めると、本機のスピーカー（またはヘッドホン）から演奏が聞こえます。

録音のときのみ

❷ EDIT MODE を押して、録音モードを選ぶ

MANUAL（マニュアル）、SYNCHRO（シンクロ）、TURN BACK（ターンバック）、TIME MARK（タイムマーク）、TURN/TIME（ターンタイム）が選べます。（⇨ 27、46 ページ）

❸ REC ●/II を押しながら、MD ▶/II を押す

TURN BACK・TURN/TIME 選択時は“ STANDBY ”が点滅し始めたあと、もう一度［●/II REC］を押しながら、［MD ▶/II］を押す。

❹ 接続した機器の演奏を始める

SYNCHRO 選択時は、演奏と同時に録音が始まります。

■ 停止するには

［■ CANCEL］を押す。

お知らせ

・曲によっては、SYNCHRO 録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、MANUAL モードで録音してください。

スピーカーをスタンドから外して使う

スタンドなしで置いたり、壁に掛けるなど、お部屋に合わせた設置ができます。

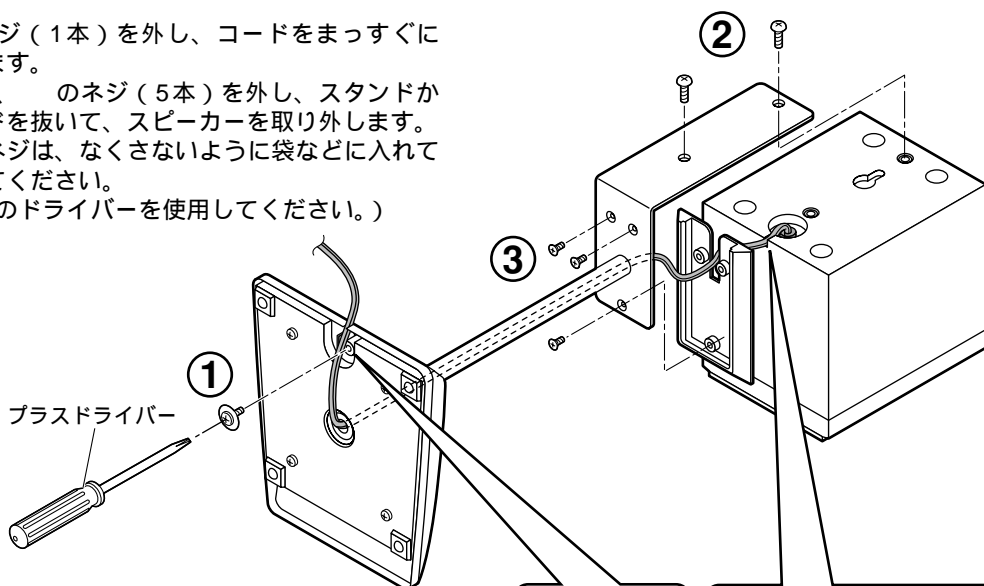
スタンドを外す

スタンドを取り外す前に本体の電源を切り、スピーカーコードを本体端子から抜いてください。

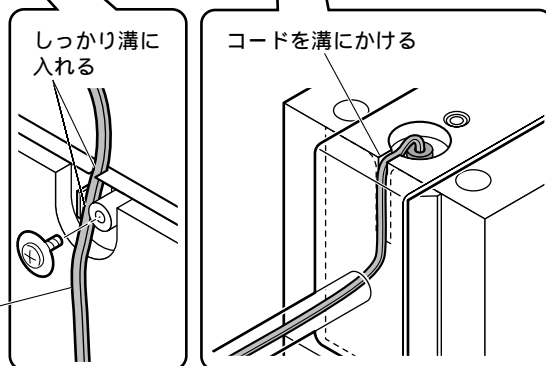
① のネジ（1本）を外し、コードをまっすぐに伸ばします。
次に ②、③ のネジ（5本）を外し、スタンドからコードを抜いて、スピーカーを取り外します。
外したネジは、なくさないように袋などに入れて保管してください。
（短かめのドライバーを使用してください。）

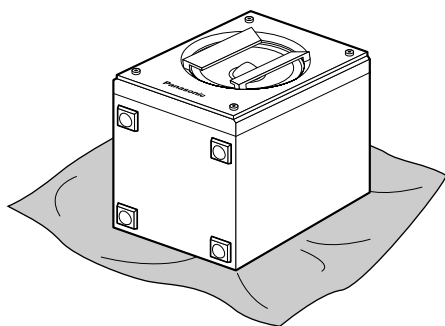
プラスドライバー

しっかり溝に入れる

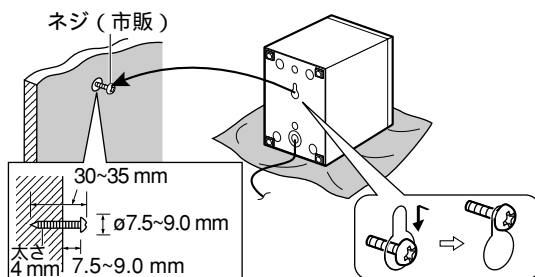
コードを溝にかける

■スタンドを取り付けるには

まずコードをスタンドの中に通す。
次にコードがたるんだり、無理な形に折れ曲がったりしないように調節しながら、③ → ② の順にネジを止める。
最後にコードを底面の溝に入れて、① のネジで上から固定する。

スピーカーが不安定にならないように、コードを底面にぴったり沿わせる。

置いて使う

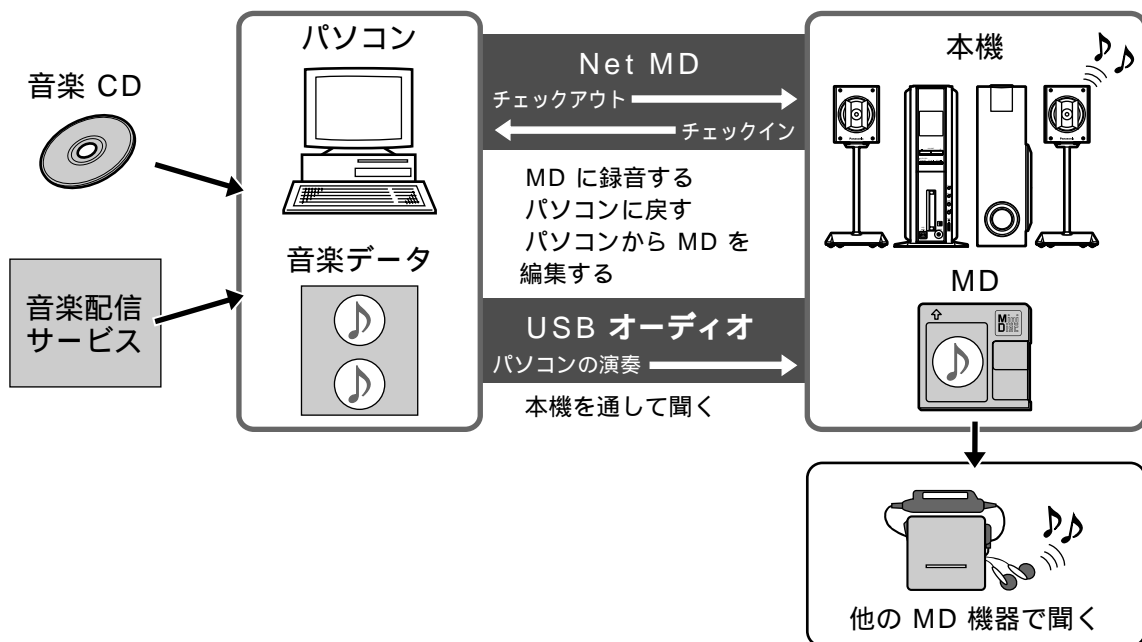
底面の四隅にゴム足（付属）を貼ってください。

壁に掛けて使う

壁に接触する面の四隅にゴム足（付属）を貼ってください。

お願い

- 取り付ける壁には、10 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。詳しくは施工業者の方などにご相談ください。

パソコンと組み合わせて使う

こんなことができます

本機の USB 端子にパソコンを接続することで、音楽 CD やインターネット上の音楽配信サイトからパソコンに蓄積した音楽データを本機の MD に録音したり、パソコンでの演奏を本機を通して楽しんだりできます。

まずアプリケーションソフト BeatJam（付属）と Net MD USB ドライバー（付属）、USB オーディオドライバーをパソコンにインストールします。

BeatJam と Net MD USB ドライバーは Windows OS のパソコンにのみインストールできます。
Macintosh OS のパソコンにはインストールできません。

■MD に録音する　Net MD

パソコン上に蓄積した音楽データを、本機の MD に録音できます。（➩ 54 ページ）
BeatJam で音楽データを OpenMG 形式※に変換し、本機に転送して MD に録音します。
SP/LP2/LP4 のいずれのモードでも録音できます。また、各曲のタイトルも記録されます。
録音した MD は、CD から録音した MD と同じように、本機や他の MD 機器で再生することができます。
またアナログ接続で他の MD に曲を録音することもできます。

パソコンに蓄積した曲（音楽データ）を本機の MD へ録音することを**「チェックアウト」**、また本機の MD からパソコンに曲を戻すことを**「チェックイン」**といいます。
1つの音楽データをチェックアウトできる回数には、制限があります。（詳しくは BeatJam の取扱説明書や配信サイトの説明をご覧ください。）
チェックアウトした音楽データをパソコンに戻せば（チェックイン）、再び別のメディアにチェックアウトして使用することができます。

またパソコンから本機を操作して、MD の曲を並べ変えたり、タイトルを付けたりできます。（➩ 55 ページ）

※OpenMG 形式
著作権保護のために音楽データを暗号化した形式です。

■演奏を楽しむ　USB オーディオ

パソコン上の音楽データの演奏を、本機を通して楽しむことができます。（➩ 56 ページ）
OpenMG 形式、MP3 形式、WAVE 形式などの音楽データが演奏できます。
OS に標準添付されているドライバーを使用します。
BeatJam を使用しない場合でも、パソコンからの演奏を聞くことができます。（➩ 56 ページ）

音楽は、著作物として著作権法に保護されています。
本機および BeatJam では、著作権保護技術「OpenMG」を使用しています。

パソコンと組み合わせて使う（つづき）

ご使用の前に

パソコンに次のような環境が必要です。

Net MD

BeatJam の取扱説明書をご覧ください。

USB オーディオ

■ **IBM PC/AT 互換機のパソコンであること**
■ **USB ポートがあり、USB 規格 Ver.1.0 に準拠していること**
■ **次のいずれかの OS（日本語版）がインストールされていること**
Windows 機
Windows 98 Second Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、
Windows XP Home Edition、Windows XP Professional

以下の場合の動作は保証しません。
- Windows 98、Windows 95、Windows NT
- Windows 3.1/95/98 から Windows 98 Second Edition/2000/Millennium Edition へのアップグレード

■ **推奨 CPU**
MMX テクノロジー Pentium プロセッサー（266 MHz）または同等性能以上

お知らせ
・**Macintosh 機での動作は保証いたしません。**
・推奨環境を満たしていても、そのすべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
・本機からのパソコン操作はできません。

・IBM および PC/AT は米国 International Buisiness Machines Corporation の登録商標です。
・Macintosh は米国その他の国で登録された米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
・MMX および Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft および Windows は米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・OpenMG、Net MD はソニー株式会社の商標です。
・その他、システム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、® マークは明記しておりません。

SC-SV1 と付属のアプリケーションソフト、ドライバーをインストールしたパソコンの組み合わせでのみ、Net MD、USB オーディオが正しく動作します。
複数の SC-SV1 を同時に接続したり、他の Net MD 機器を組み合わせたりしたときの動作は保証いたしません。

ユーザー登録のお願い

本機（SC-SV1）とBeatJam のご使用に際して、必ずそれぞれのユーザー登録をしていただきますようお願いいたします。

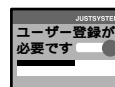
● 本機（SC-SV1）

インターネットを利用して、当社ホームページで登録してください。

http://www.panasonic.co.jp/customer/audio/

詳しくは同梱の「ユーザー登録のお願い」チラシをご覧ください。

● BeatJam

インターネットを利用して登録するか、または付属のユーザー登録ハガキを使用して登録してください。（ハガキは CD-ROM のケースの中に入っています。）

インストールする

初めて Net MD を使用する場合は、まずアプリケーションソフト BeatJam と Net MD USB ドライバー、USB オーディオドライバーをパソコンにインストールする必要があります。
一度行えば、次回からはインストールの必要はありません。

BeatJam と Net MD USB ドライバーは付属の CD-ROM に入っています。
USB オーディオドライバーはパソコンの OS に標準添付されています。
パソコンの指示に従ってインストールしてください。

- 詳しくは BeatJam の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- OS インストール用の CD-ROM が必要になる場合があります。お手元にご用意ください。

1 BeatJam と Net MD USB ドライバーのインストール

インストールが完了するまでパソコンを本機に接続しないでください。

① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる

② 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

画面の指示に従ってインストールしてください。
必要なプラグイン、ドライバーが全てインストールされます。

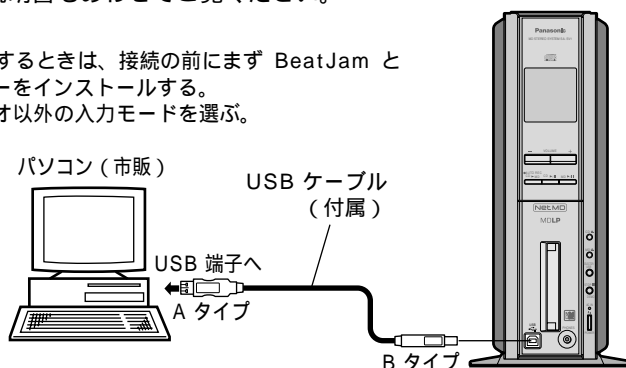
お知らせ

OS の設定によっては、右記の画面が表示されることがあります。
“ 続行 ” をクリックして、インストールを続けてください。

画面は Windows XP Home Edition の一例です。

2 接続

USB ケーブル（付属）を使って、本機とパソコンを接続します。
パソコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

準備：
- 最初に Net MD を使用するときは、接続の前にまず BeatJam と Net MD USB ドライバーをインストールする。
- 本機の電源を入れ、ラジオ以外の入力モードを選ぶ。

お願い

- USB ハブおよび USB 延長ケーブル経由で接続した場合の動作は保証しません。
- USB ポートがパソコンに複数ある場合は、ルートハブ対応の端子に接続してください。
  （ルートハブ対応の端子についてはパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。）
- パソコンや本機の電源が入っている状態で USB ケーブルを抜き差しするときは
  - パソコン側を抜き差ししてください。
  - 抜いた後にもう一度差し込むときは、5秒以上の間隔を開けてください。すぐに差し込むと正しく動作しないことがあります。

パソコンと組み合わせて使う（つづき）

インストールする（つづき）

3 USB オーディオドライバーのインストール

USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、パソコンが本機を自動検出し、下記のような画面が表示されます。（表示される画面は OS によって異なります。）
画面の指示に従って操作してください。必要なデバイス（ドライバー）がインストールされます。

➡

画面は Windows Millennium Edition の一例です。

- インストールされない場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ご使用のパソコンによっては OS インストール用の CD-ROM が必要になる場合があります。その場合は指示に従って CD-ROM を入れてください。
- 検出中は USB ケーブルの抜き差しはしないでください。

4 確認

BeatJam と Net MD USB ドライバー、USB オーディオドライバーが正しくインストールされたかを確認してください。

● **BeatJam**

正しくインストールされると、パソコンのデスクトップに BeatJam などのアイコンが現れます。

● **Net MD USBドライバー、USB オーディオドライバー**

お知らせ

画面のリスト内にある項目は、ご使用のパソコン環境に応じて異なる場合があります。

Windows 98 Second Edition または Windows Millennium Edition をご使用の場合

① **“ スタートメニュー ”** から **“ 設定 ”** → **“ コントロールパネル ”** を選びクリックする
② コントロールパネルの画面で、**“ システム ”** のアイコンをダブルクリックする
③ **“ デバイスマネージャ ”** のタブをクリックする
“ 種類別に表示 ” にチェックが入っているか確認してください。
④ デバイスが認識されていることを確認する
“ サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ ” の項目の中に **“ USB オーディオデバイス ”** が、**“ ユニバーサル シリアル バス コントローラ ”** の項目の中に **“ USB 互換デバイス ”** と **“ Net MD ”**、**“ 汎用 USB ハブ ”** がそれぞれ認識されていることを確認してください。

Windows 98 Second Edition の一例

Windows Millennium Edition の一例

Windows 2000 Professional をご使用の場合

①**“ スタートメニュー ”**から**“ 設定 ”**→**“ コントロールパネル ”**を選びクリックする
② コントロールパネルの画面で、**“ システム ”**のアイコンをダブルクリックする
③**“ ハードウェア ”**のタブを選び、**“ デバイスマネージャ ”**をクリックする
“ 表示 ” が “ デバイス（種類別）” になっているか確認してください。
④ デバイスが認識されていることを確認する
“ USB (Universal Serial Bus) コントローラ ”の項目の中に**“ USB 複合デバイス ”**と**“ Net MD ”**、**“ 汎用 USB ハブ ”**が、**“ サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ ”**の項目の中に**“ USB オーディオデバイス ”**がそれぞれ認識されていることを確認してください。

画面の一例

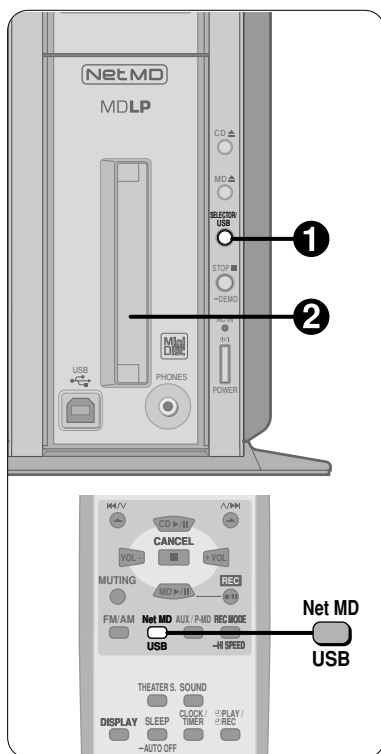
Windows XP をご使用の場合

①**“ スタートメニュー ”**から**“ コントロールパネル ”**を選びクリックする
② コントロールパネルの画面で、**“ パフォーマンスとメンテナンス ”**のアイコンをクリックする
③**“ システム ”**のアイコンをクリックする
④**“ ハードウェア ”**のタブを選び、**“ デバイスマネージャ ”**をクリックする
“ 表示 ” が “ デバイス（種類別）” になっているか確認してください。
⑤ デバイスが認識されていることを確認する
“ USB (Universal Serial Bus) コントローラ ”の項目の中に**“ USB 複合デバイス ”**と**“ Net MD ”**、**“ 汎用 USB ハブ ”**が、**“ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ ”**の項目の中に**“ USB スピーカー ”**がそれぞれ認識されていることを確認してください。

画面の一例

デバイスが認識されていない場合は、USB ケーブルを抜き差ししてみてください。
それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。

MD に録音する／パソコンに戻す　Net MD

1 MDに録音する（チェックアウト）

準備：
① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる
正常に起動するまでお待ちください。
② 本機の電源を入れ、パソコンを接続する（⇨ 51 ページ）
③ パソコンで BeatJam を起動する

❶ SELECTOR/USB を押して、“ Net MD ”を選ぶ

リモコンの［Net MD USB］を押しても選べます。
押すたびに **Net MD** ⟷ USB Audio

Net MD
押すたびに
FM ⟶ AM ⟶ **Net MD**
↑　　　　　　↓
P-MD ← AUX ← USB Audio

❷ 本機に録音用の MD を入れる
（⇨ 15 ページ）

❸ BeatJam を操作して、録音したい曲（OpenMG 形式）**を MD にチェックアウトする**

チェックアウトの最後に “ UTOC Write ” が点滅し、録音が終了します。
パソコンの曲にタイトルが付いている場合は、タイトルも MD に記録されます。

Net MD
CHECK OUT
Pc-Net MD

詳しくは BeatJam の取扱説明書をご覧ください。

■SP/LP2/LP4 モードを設定するには

SP/LP2/LP4 モードは BeatJam のみで設定できます。
① パソコン上に録音するとき、“ 詳細設定 ”でビットレートを設定する
SP のとき　：どのビットレートでもチェックアウト時 SP モードになります
LP2 のとき：105 kbps または 132 kbps
LP4 のとき：66 kbps
② チェックアウトするとき、“ MD録音モード ”で録音モードを選ぶ
SP のとき　：ステレオモード（SP）
LP2/LP4のとき：ステレオ長時間モード（LP）

お知らせ

- チェックアウト中の曲を本機で再生することはできません。
- 録音が終了すると、BeatJam の“ デバイス／メディア ”の画面にチェックアウトした曲が表示され、曲が MD に録音されたことを確認できます。
- パソコン上の音楽データに、再生期間、再生回数などの制限がある場合は、MD に録音できません。
- 曲間に全く無音部のない、つながった2曲をチェックアウトすると、MD では曲間にわずかな無音部が録音され、とぎれたように聞こえることがあります。
このような2曲の場合、BeatJam の操作で2曲をつなげて1曲にしてから MD にチェックアウトすると、とぎれのない1曲として録音することができます。

2 音楽データをパソコンに戻す（チェックイン）

チェックアウトした曲を元のパソコンに戻すと、再び別のメディアにチェックアウトして使用できます。

準備： ① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる
② 本機の電源を入れ、パソコンを接続する（⇨ 51 ページ）
③ BeatJam を起動する

❶ SELECTOR/USB を押して、" Net MD " を選ぶ

❷ 本機に、チェックインする曲が録音されている MD を入れる（⇨ 15 ページ）

❸ BeatJam を操作して、曲をチェックインする

詳しくは BeatJam の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
・チェックアウトした曲を本機の操作で ERASE/DIVIDE/COMBINE すると、パソコンにチェックインできなくなります。MOVE やタイトル編集は自由に行えます。
・データをチェックアウトした元のパソコンにしか、チェックインできません。

パソコンから本機の MD を操作できます

● MD の演奏
● MD の編集
・タイトルを編集する
・曲を並べかえる（MOVE）
・不要な曲を消す（ERASE）
● MD の取り出し

詳しくは BeatJam の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
・MD を演奏すると本機の入力が " MD " に切り換わりますが、その後チェックアウト、チェックインなどの操作をすると、自動的に " Net MD " に戻ります。
・グループを作った MD の全曲を、BeatJam の操作で消した場合、ディスクタイトル、グループタイトルが BeatJam の画面に表示されたままになることがあります。本機では表示されませんが MD には記録されていますので、タイトルが不要のときは、BeatJam を操作して消してください。

お知らせ
・チェックイン／チェックアウト中は、**次のようなことはしないでください。**音楽データが壊れることがあります。
・" Net MD " 以外の入力モードに切り換える
・MD を取り出す
・USB ケーブルを抜く
・電源を切る
チェックイン／チェックアウトの前に、おめざめ、留守録、おやすみタイマーおよびオートオフ機能を「切」にしておくことをおすすめします。
・本機とパソコンのネットワークが確立しているときは、本体の表示部に " PC-Net MD " が表示されます。MD を取り出すと表示が消えますが、もう一度入れると " PC-Net MD " の表示が戻ります。
・BeatJam 起動中は、本機の［SELECTOR/USB］での入力切り換えが Net MD ⇄ USB オーディオのみになります。
ラジオや他の外部入力に切り換えるときには、リモコンで操作してください。

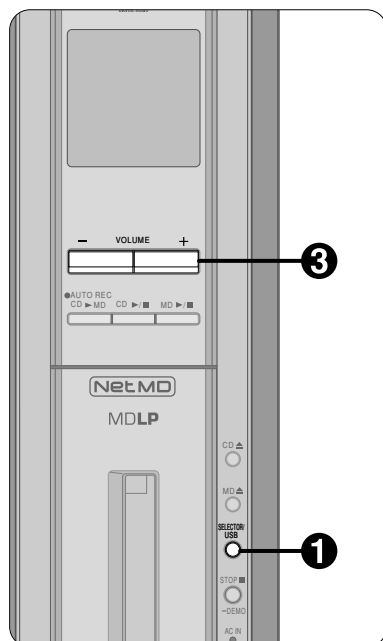
お願い
・Net MD を使用中は、本機の電源を切らないでください。パソコンの誤動作の原因になることがあります。
・本機の電源やパソコンの電源を切るときは、次の順番で切ってください。
BeatJam を終了する→本機の電源を切る→パソコンの電源を切る
・パソコンを休止状態にするときは、先に本機の電源を切ることをおすすめします。

パソコンと組み合わせて使う（つづき）

パソコンからの演奏を聞く　USB オーディオ

BeatJam を使ってパソコン上の音楽データを演奏し、その音を本機を通して聞くことができます。

準備： ① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる
② 本機の電源を入れ、パソコンを接続する（➪ 51 ページ）
③ パソコンで BeatJam を起動する

❶

を押して“ USB Audio ”を選ぶ

USB Audio

❷ BeatJam で演奏を始める

❸ 本機で音量を調節する

音が聞こえない場合は、パソコンの“ オーディオ ”のプロパティの設定を確認してください。
（以下 Windows Millennium Edition の例）

①“ **スタート** ”メニューから“ **設定** ”→“ **コントロールパネル** ”を選びクリックする。

② コントロールパネルの画面で、“ **サウンドとマルチメディア** ” のアイコンを選びダブルクリックする。

③“ **オーディオ** ”のタブをクリックする。**再生項目の優先するデバイスが“ USB オーディオデバイス ”になっているか確認してください。**

④“ 音量 ” の項目がある場合は、クリックして、音量の設定も確認してください。

BeatJam およびパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

お知らせ

• パソコン側の使用環境によっては、音が途切れたり雑音が発生したりする場合があります。（➪ 63 ページ）
• AC アダプターを接続せずにノートパソコンを使用していて、音切れや雑音が発生した場合は、AC アダプターを接続すると改善されることがあります。

お願い

• パソコン上の曲を演奏しているときは、本機の電源を切ったり、"USB Audio" 以外の入力に切り換えたりしないでください。パソコンの誤動作の原因になります。

BeatJam を使わないとき

BeatJam を使用していなくても、パソコンからの演奏を本機を通して聞くことができます。
初めてパソコンを接続する場合、ドライバーをインストールする必要があります。（次回からは必要ありません。）

■USB オーディオドライバーのインストール

ドライバーはパソコンの OS に標準添付されているものを使用します。

① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる
② 本機の電源を入れる
③ USB ケーブル（付属）を使って、本機とパソコンを接続する（➪ 51 ページ）

パソコンが本機を自動検出し、必要なドライバーがインストールされます。画面の指示に従って操作してください。パソコンに Net MD USB ドライバーのインストールを促す画面が表示されますが、インストールしなくても USB オーディオは使用できます。

インストール後、52、53 ページの方法で正しくインストールされたかを確認してください。**“ Net MD ” は表示されません。**

お知らせ

• 検出中は USB ケーブルの抜き差しはしないでください。

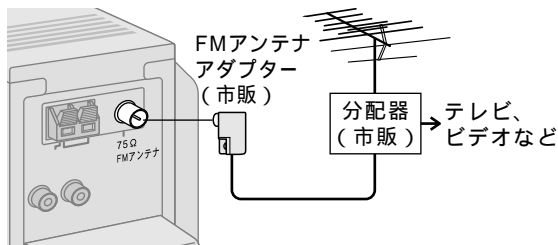
■演奏を聞く

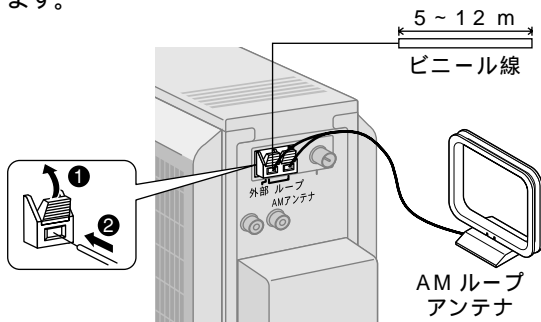
① パソコンの電源を入れ、OS を起動させる
② 本機の［SELECTOR/USB］を押して“ USB Audio ”を選ぶ
③ パソコンで演奏を始める
④ 本機で音量を調節する

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中などで電波を受信しにくい場合や、パソコンを接続していて雑音が多い場合は、屋外アンテナを接続してください。

FM（テレビアンテナの利用）

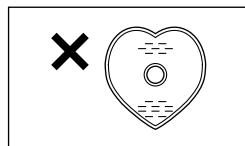
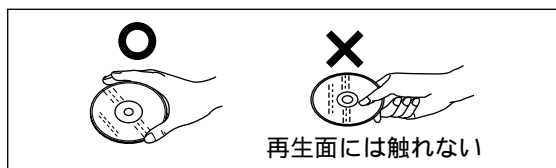
アンテナ線（同軸ケーブル）を市販の FM アンテナアダプターに取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナははずしてください。

AM（市販のビニール線）

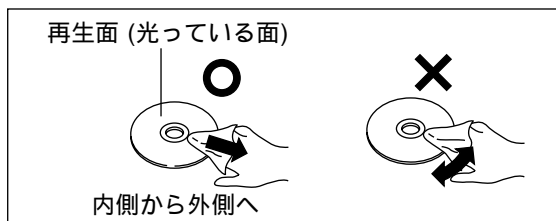
窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。

保管（MD•CD）

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

CD について

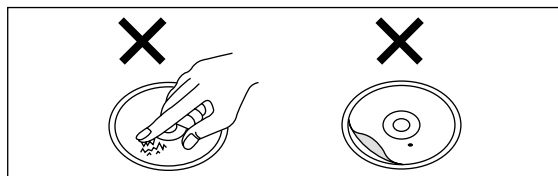
COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

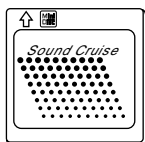
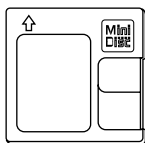
取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

MD について

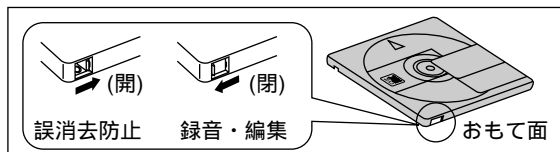
MD の種類

■演奏専用 MD
録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）でいらない曲を消してから録音します。(上書き録音はできません。)

■MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです。
ただし、MD は2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。(“ コピーのコピー ”の禁止。)
なおアナログ接続での録音にはこのような制限はありませんので、MD から別の MD へ録音できます。

■録音、編集時のお願い
録音／編集／タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“ UTOC ”表示中または“ UTOC Write ”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音／編集／タイトルが MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク
録音部分に記録される“ 区切り ”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけたりできます。

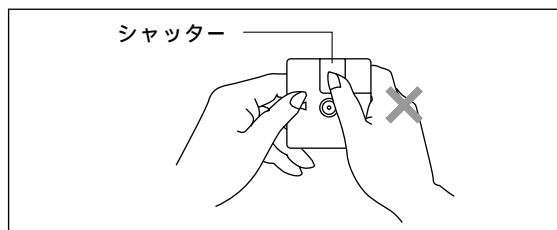
■MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

■TOC（トック）**（Table of Contents）**
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）**（User Table of Contents）**
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や編集した結果などを記録します。

■UTOC（ユートック）**エリア**
UTOC を記録することができる領域です。この領域の空きがなくなった場合は、グループにまとめる、ディバイドなどの編集操作ができなくなります。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

お手入れ

■本機が汚れたら

クリーニングクロス（付属）でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた中性台所用洗剤を含ませた柔らかい布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■MD・CD を良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：(社) 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

部署	電話	部署	電話
本部	(03) 3481-2121	静岡支部	(054) 254-2621
北海道支部	(011) 221-5088	中部支部	(052) 583-7590
盛岡支部	(019) 652-3201	北陸支部	(076) 221-3602
仙台支部	(022) 264-2266	京都支部	(075) 251-0134
長野支部	(026) 225-7111	大阪支部	(06) 6244-0351
大宮支部	(048) 643-5461	神戸支部	(078) 322-0561
上野支部	(03) 3832-1033	中国支部	(082) 249-6362
東京支部	(03) 3562-4455	四国支部	(087) 821-9191
西東京支部	(03) 3232-8301	九州支部	(092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	(03) 5286-1671	鹿児島支部	(099) 224-6211
立川支部	(042) 529-1500	那覇支部	(098) 863-1228
横浜支部	(045) 662-6551		

MD の制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに " UTOC FULL " が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。（MD 1枚の最大曲数254曲）
	録音のしかたによっては、254曲以下であっても録音できないことがあります。
ムーブやディバイド機能が使えない。 " GROUP DATA FULL " と表示される。	グループを作った MD の UTOC エリアに空きがないために、ムーブやディバイドができません。
コンバイン／ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音／部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。 また、SP/LP2/LP4 の各モードが異なる曲間ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り／早戻しすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MD の最大録音時間にならない。	MD は、2秒以下の音声を録音する場合でも、約2秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、 フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い品番：RFKZ0088KIT）が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	47
	テレビをつなぎたい	後面の「補助入力（AUX）」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	47
	有線放送をつなぎたい	後面の「補助入力（AUX）」端子に接続します。	47
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい音が得られません。	7
MD	**MD ネットワークに対応している機器は？**	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	44・45
	MD で長時間録音する方法は？	MD モード以外で［REC MODE －HI SPEED］を押して“ LP2 ”または“ LP4 ”を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	19
	録音用 MD の残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで、［DISPLAY］を押してください。	19
	録音済み MD に上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース ⇨ 33 ページ
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし MD の録音レベルを変更すると、録音される音に影響します。	18・19
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“ LP: ”と表示され、無音で再生されます。	
	光デジタル接続で録音したい	本機には光デジタル入力端子がないので、できません。 アナログ接続で録音してください。	
その他	**引っ越しするのだが、そのまま使える？**	東日本・西日本に関係なく使えます。	

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
ADJ.CLOCK ADJ.TIMER	時計、タイマー時刻が設定されていません。	時計を合わせてください。または、タイマー時刻を設定してください。
CAN NOT EDIT	プログラム、リピート、1ソング、ランダム、1グループモード設定中は、タイトル編集できません。	各モードを解除したうえで、編集操作を行ってください。
CD NO DISC MD NO DISC	ディスクが入っていません。	ディスクを入れてください。
DISC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MD をいったん取り出して、電源を入れ、操作し直してください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F□□ H□□（□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	もう一度、電源を「入」にしてください。表示が消えないときは販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやコンバインができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1つのグループを解除してください。
MD F□□ （□□は数字を示します）	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。表示が消えないときは販売店にご相談ください。
NOT COMBINE NOT DIVIDE	コンバイン、ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
PLAYBACK DISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS（➪ 58 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 [EDIT MODE] を押して、録音モードを“ ANALOG ”に切り換えてください。
SETTING ERROR CHANGE SETTING	本体を逆向きに設置しています。 または、設置の向きと表示部の向きが合っていません。	電源を切り、正しい向きに設置し直してください。（➪ 7 ページ）（そのまま放置すると、10分後に電源が自動的に切れます。）
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルが101文字以上あります。	[ENTER] を押すと、101文字以降は切り捨てられます。
TRACK No NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
	パソコンからチェックアウトした曲を MD 編集しようとしました。	パソコンからチェックアウトした曲を編集すると、パソコンにチェックインして別のメディアで使用することができなくなります。
UTOC FULL	UTOC エリアに空きがありません。	不要なタイトルを消去するか短くしてください。または1つのグループを解除してください。
	254曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。	不要な曲を消去するか、2曲を1つにまとめてください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	パネル表示が次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	表紙
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	47
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	
	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	8・9
FM	ステレオ放送に雑音が入る。 ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。 “ ST ” が点滅する。	送信所が遠くありませんか。 アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易型アンテナを使用している場合は、テレビアンテナを利用してみる。	57
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	
AM	雑音、ひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	57
		テレビやパソコンと同時に使用したり、近くで携帯電話の充電をしたりしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出たりする。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	10
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	10
CD	CD を入れても、表示部の表示が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	57
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	57
	一曲しか録音できない。	1ソングプレイモードになっていませんか。	[PLAY MODE] を押して “ 1-S ” を消し、モードを解除する。	21

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
MD	MD を入れても、自動的に引き込まれない。 MD を入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中の MD に、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。 タイトルが入力できない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。	58
	MD のタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MD に記録できる文字数（英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	34
	MDを入れても"TOC Read"が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で［MD ⏏］を押しても、MDが出てこない。	MD の TOC 情報読み込み中に異常が発生しました。	①［⏻/I POWER］を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ［MD ⏏］を押す。MD が出てきます。（出てこないときは、手順①②をくりかえす） ③ MD を取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	
	高速録音ができない。	録音を開始した時点から74分間待たずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74分待ってから録音する。	24
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能のない機種でタイトル入力しませんでしたか。	本機で入力をやり直す。	34
パソコン接続	音が途切れる。 パソコンの画面がかたまる。	音楽再生用ソフト以外のソフトを開いていませんか。	音楽再生用ソフト以外のソフトを閉じる。	
	USB オーディオで音が出ない。	パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量をしぼり込んでいませんか。	パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量を調節する。	56
		オーディオのプロパティの再生項目にある優先デバイスが、USB オーディオデバイスになっていますか。	優先するデバイスを"USB オーディオデバイス"にする。	56
	USB オーディオで雑音が入る。	パソコン上の曲を演奏中に本機を他の入力モードに切り換えませんでしたか。 パソコンの使用環境によっては、切り換え時に雑音が発生することがあります。	以下の方法で改善される場合があります。 ① パソコン上の曲の演奏を停止する。 ② 本機の電源を切／入する。またはUSB ケーブルを抜き、5秒以上待ってから差し直す。	
	Net MD で録音中に音が出ない。	チェックアウト中は再生音が聞こえません。	録音終了後 MD を再生して曲を確認してください。	
	パソコン側から音が出ない。	パソコンが本機を認識したままになっていませんか。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、パソコンを再起動させる。	
	付属アプリケーションソフトBeatJamをインストールできない。	ご使用のパソコンは BeatJam の使用に必要な環境を満たしていますか。	「BeatJam」は必要な環境を満たした Windows OS のパソコンでしか使用できません。 詳しくは BeatJam の取扱説明書をご覧ください。	50
	MD を BeatJam で使用するときにエラー表示が出る。	他の MD 機器でタイトル編集した MD を使用していませんか。 または誤消去防止の状態になっていませんか。	本機で3曲録音した後、それぞれにグループを作成して、再度 BeatJam で操作する。	

各部のなまえ

⓭などの数字は参照ページです。

本体（操作部）

CDトレイ

表示部（下記）

CD ▶/❚❚、MD ▶/❚❚
（CD、MD 再生／一時停止）
ボタン ⓭ ⓯

VOLUME（ボリューム）
（音量調節）ボタン ⓭

CD ⏏
（CD トレイ開／閉）
ボタン ⓭

● AUTO REC（オートレック）
CD ▶ MD
（CD から MDへ
自動録音）ボタン ㉔

MD ⏏
（MD 取り出し）
ボタン ⓯

SELECTOR（セレクター）/USB
（外部入力選択）ボタン ㊹
FM、AM、Net MD、
USB オーディオ、AUX、
P-MD が選べます。

MD 挿入口

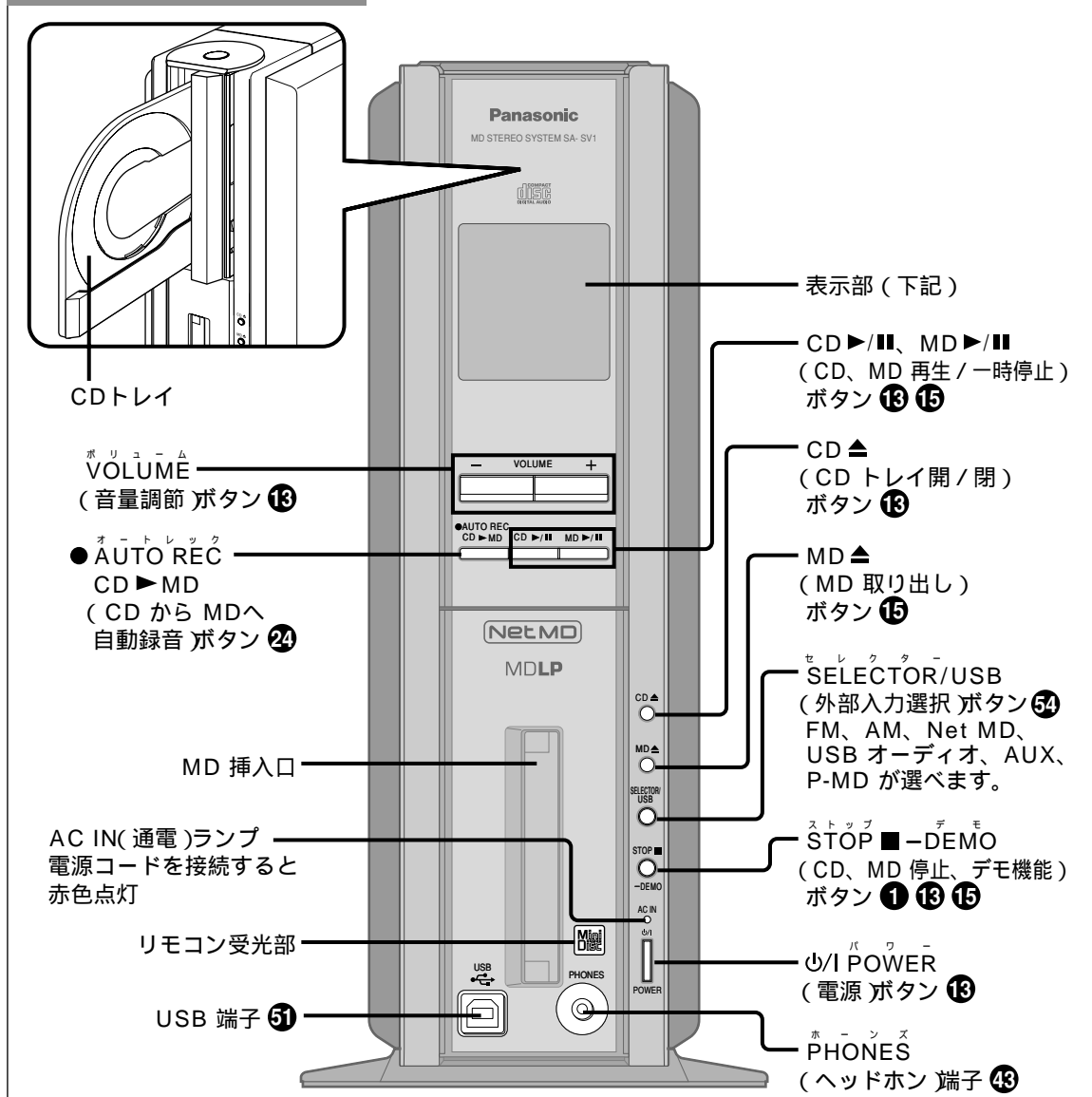
AC IN（通電）ランプ
電源コードを接続すると
赤色点灯

STOP（ストップ） ■ –DEMO（デモ）
（CD、MD 停止、デモ機能）
ボタン ❶ ⓭ ⓯

リモコン受光部

⏻/I POWER（パワー）
（電源）ボタン ⓭

USB 端子 ㊿

PHONES（ホーンズ）
（ヘッドホン）端子 ㊸

表示部

表示は機器の状態によって異なります。
（表示されるものの一部を記載しています。）

各部のなまえ

リモコン

● のようなボタン（TITLE ●）はリモコンのみで操作できます。

TITLE
（タイトル入力）ボタン ㉞

⏻（電源）ボタン ⑩

1～0、≥10（数字）
文字入力ボタン ⑳ ㉟

PLAY MODE
（再生モード）ボタン ⑰ ㉑

MUTING
（消音）ボタン ㊸

FM/AM
（ラジオバンド切り換え）
ボタン ⑰

Net MD USB
（外部入力選択）ボタン (54)

AUX/P-MD
（外部入力選択）ボタン ㊺

DISPLAY
（表示切り換え）ボタン ⑲ ㊸

SLEEP －AUTO OFF
（おやすみタイマー、オートオフ）
ボタン ⑩ ㊳

CHARA
（文字種類選択）ボタン ㉟

EDIT MODE
（録音、編集モード）ボタン ㉗ ㉘

DELETE（文字削除）ボタン ㉟

ENTER（確定）ボタン ㉒

PROGRAM －AREA
（予約、エリアバンク）
ボタン ⑳ ㉒

メイン操作部

REC MODE －HI SPEED
（MD 録音モード、
高速録音モード切り換え）
ボタン ⑲ ㉔

THEATER S.、SOUND
（音場切り換え／音質）ボタン ㊷

◴ PLAY/◴ REC
（タイマー入／切）ボタン ㊴

CLOCK/TIMER
（時計、タイマー表示切り換え）
ボタン ⑩ ㊴

必要なとき

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は MD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
62～63 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	MD ステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-SV1	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

BeatJam についてのご相談は、BeatJam の取扱説明書をご覧ください。

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地区	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地区	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地区	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地区	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

地区	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地区	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地区	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

主な仕様

アンプ部

実用最大出力 ： 合計 26 W
（全高調波ひずみ率 10 %）
フロント、サブウーハー
6 Ω 総合出力
フロント ： 5 W + 5 W
サブウーハー ： 16 W

FM チューナー部

受信周波数帯域 ： 76.0 〜 90.0 MHz
（100 kHzステップ）
TV 1 ch、2 ch、3 ch（モノラル）
アンテナ端子 ： 75 Ω（同軸型）

AM チューナー部

受信周波数帯域 ： 522 〜 1629 kHz（9 kHzステップ）

CD部

サンプリング周波数 ： 44.1 kHz
量子化 ： 16 ビット直線
光源 ： 半導体レーザー
波長 ： 780 nm
チャンネル数 ： 2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター ： 測定限界以下
デジタルフィルター ： 8 fs
D/A コンバーター ： MASH（1 ビット DAC）

MD部

形式 ： Net MD 規格対応
ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 ： 磁界変調オーバーライト方式
読取方式 ： 半導体レーザー（波長=780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数 ： 44.1 kHz
圧縮／伸張方式 ： ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数 ： 2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター ： 測定限界以下
録音再生時間（ステレオ）
80分 MD使用 ： 80分（SP）
： 160分（LP2）
： 320分（LP4）

USB DAC部

USB規格 ： USB Rev.1.0準拠

本体総合

電源 ： AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 ： 36 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）
縦置き時（スタンド含む） ： 135 × 298 × 342.2 mm
横置き時（ゴム足含む） ： 292 × 100 × 342.2 mm
質量 ： 約4.9 kg

電源スタンバイ時の消費電力 ： 約0.6 W

フロントスピーカー（SB-SV1）

名称 ： スピーカーシステム
形式 ： 1ウェイ1スピーカー　密閉型
スピーカー
フルレンジ ： 6.5 cm コーンタイプ
インピーダンス ： 6 Ω
許容入力 ： 15 W（Music）
出力音圧レベル ： 81 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域 ： 150 Hz〜25 kHz（–16 dB）
200 Hz〜22 kHz（–10 dB）
寸法（幅 × 高さ × 奥行） ： 114 × 297 × 128 mm
質量 ： 約1.2 kg

サブウーハー（SB-WSV1）

名称 ： サブウーハー
形式 ： 1ウェイ1スピーカー　バスレフ型
スピーカー
ウーハー ： 8 cm コーンタイプ
インピーダンス ： 6 Ω
許容入力 ： 35 W（Music）
出力音圧レベル ： 80 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域 ： 53 Hz〜3 kHz（–16 dB）
60 Hz〜2 kHz（–10 dB）
寸法（幅 × 高さ × 奥行） ： 100 × 301 × 204 mm
質量 ： 約2.1 kg

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

別売り品の品番は、2001年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

愛情点検　**長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SC-SV1
販売店名	☎（　）　–	お客様ご相談窓口 ☎（　）　–	

松下電器産業株式会社　AVC ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6169-S
M1201TK0